

# Y A E S E

## 町勢要覧

YAESE TOWN GUIDE



自然

民俗  
芸能

観光・交流

文化財・  
史跡

スポーツ

暮らし

人物

産業



### 未来へひろがる、 八重瀬の8つの魅力。

八重瀬らしさを活かした  
豊かで健やかなまちの実現



## 町長挨拶

八重瀬町は2006年1月1日に、隣接する東風平町と具志頭村が合併したまちです。近年では、屋宜原、伊覇土地区画整理事業に伴い大型店舗や企業等の進出により生活利便性の高いまちとして発展し、人口は3万2千人に到達しておりファミリー層を中心とした人口増加に伴う都市化が進んできております。また、全体的に肥沃な土壌に恵まれ農業の盛んなまちであり、田園と都市が調和するまちづくりに取り組んでいるところです。

八重瀬町にはさまざまな地域資源が存在し、八重瀬岳や具志頭海岸に代表される豊かな自然、国内旧石器人骨の代表例である人骨化石「港川人」、県内の村落獅子の中で最大・最古を誇る「富盛の石彫大獅子」などの文化財、獅子舞、綱引き、棒術、エイサー、港川ハーレーなどの行事が伝統として受け継がれています。

また、沖縄の自由民権運動の父・謝花昇や勤労の喜びを謡った民謡「汗水節」の作詞者・仲本稔といった偉人の出身地でもあります。

産業面では、農業が盛んで沖縄県の基幹作物であるサトウキビやピーマン、オクラ、インゲン、小菊、マンゴー、紅いもなどの彩り鮮やかな農作物があり、また、豊かな漁場を有し海の幸も豊富で、パヤオやソデイカ漁を中心に小型船による漁船漁業が営まれており多くの地域資源がまちの誇りとなっております。

この町勢要覧により、八重瀬町のこれまでの歩みと、これからの可能性を存分に感じていただき、八重瀬町の魅力をお伝えできる一冊となれば幸いです。

八重瀬町長 新垣 安弘

# CONTENTS

- 01 コンテンツ  
Contents
- 02 八重瀬町の将来像  
Yaese Town's Future Vision
- 04 目で感じる八重瀬町  
View of Yaese Town
- 08 未来へ広がる八重瀬の8つの魅力  
Yaese's 8 Charms to a Bright Future
- 10 ひろがる自然  
Nature
- 14 ひろがる産業  
Industry
- 18 八重瀬のふるさと納税返礼品  
Hometown Tax Donation Program – Yaese's Return Gift
- 22 みんなでひろがる  
Linking People Together
- 26 未来ひろがる暮らし  
Comfortable Living Environment
- 31 スペシャルインタビュー  
Special Interview
- 32 八重瀬の輝く人  
Our Shining Stars
- 34 スポーツで夢ひろがる  
Expanding our Future with Sports
- 38 八重瀬の文化財・史跡  
Our Cultural Assets and Historical Sites
- 40 郷土の先人に学ぶ  
Our Forefathers
- 42 八重瀬の戦跡  
Our Battle Sites
- 44 八重瀬の観光・交流  
Sightseeing and Cultural Exchange
- 46 八重瀬のイベント  
Local Events
- 48 姉妹都市・国際交流  
Sister Cities and International Exchange
- 50 行政と議会  
Administrative Government and Town Council
- 51 資料編  
Statistics
- 64 イラストマップ  
Illustrative Map



イメージ動画を  
こちらからご覧いただけます。  
Click Here for Video



# 八重瀬町の将来像

「大地の活力と うまんちゅの魂が創り出す 自然共生の清らまち」

将来像には、「自然の力と人々の力を合わせ、調和させることによって、活力と魅力に満ちた八重瀬町を実現し、いつまでも続くように」という願いが込められています。

## 大地の活力

森林などの自然環境や、生産活動の基礎となる土地、農林水産業などに欠かせない地力

## うまんちゅの魂

八重瀬町に暮らすすべての人々の魂や気力

## 自然共生の清らまち

八重瀬町が理想とする、自然豊かで清らかな美しいまち



まちのシンボル  
「八重瀬岳」  
東風平地区と具志頭地区の間にまたがる八重瀬岳は、まちのシンボリックな存在であり、昔から身近な存在として親しまれてきました。遺跡や史跡、自然、桜など豊かな地域資源を有し、新町名の由来となっています。八重瀬の「八重」はいくつにも重なっていることを意味し、「八」は末広がりや幸せが幾重にも重なり、「瀬」は物事に出会う時の意味があります。「八重瀬」には、幾重にも重なった人々の繁栄と末広がり的发展性のある町のイメージがあり、それが八重に続くことが願われています。



町の魅力を空から撮影  
目で感じる八重瀬町

自然と都会がバランスよく混在する八重瀬町  
町の美しい8つの景色を紹介します。



1 国道507号沿いの市街地  
(屋宜原から伊覇・東風平方面)

# 暮らしに便利な発展を続ける 八重瀬町の「市街地」



## 2 役場周辺の区画整理地



## 3 国道507号沿いの市街地 (東風平北交差点から伊覇・屋宜原方面)



## 4 具志頭三叉路

昔ながらの原風景が広がる「農村地」



## 5 田園風景 (坡名城・安里)



**6** 田園風景(仲座)



**7** 港川漁港



**8** 具志頭海岸線



# 未来へひろがる、 八重瀬の 8つの魅力。

町の取り組む事業や施策、また町民の声などを参考に八重瀬町の魅力を「自然」「産業」「民俗芸能」「暮らし」「スポーツ」「人物」「文化財・史跡」「観光・交流」の8つの項目に分け紹介。八重瀬町が住みよい町であるというPRと、行ってみたい、暮らしてみたいと思って頂けるような特集です。

## YAESE'S 8 CHARMS TO A BRIGHT FUTURE

We divided Yaese Town's 8 charms into the following categories based on local industry, local policy, and local opinion: Nature, Industry, Folk Entertainment, Living Environment, Athletics, People, Cultural Assets and Historical Sites, Sightseeing and Cultural Exchange. We're proud to provide a good environment for living and raising a family and invite you to come visit and/or relocate to our Town.

自然

産業

民俗  
芸能

暮らし

人物

スポーツ

文化財・史跡

観光・交流

未来へひろがる、八重瀬の8つの魅力。





八重瀬  
8つの魅力

# ひろがる自然

NATURE

大地や海から広がる自然環境の魅力

美しい海辺と心癒やす緑、のどかな田園など  
昔からたどる風景が残り身近に  
自然を感じる八重瀬町の魅力を紹介。

## 豊かな自然環境や 美しい田園地帯。

沖縄本島南部に位置する八重瀬町は、平成18年1月に、東風平町と具志頭村が合併して誕生した町です。町域は、東西に約6.6km、南北に約9.1kmと長方形形状をなし、総面積は26.9km<sup>2</sup>。沖縄県の1.18%を占めています。

大地の大部分が起伏に富んだ地形で、南部一帯は高台に、その他は緩やかな丘陵地帯になっています。全体的に肥沃な土壌に恵まれ、丘陵地帯にはサトウキビ畑が広がるほか、街のいたるところで野菜や果実などの作物が、数多く生産されています。

のどかな田園風景が広がりながらも、南部には多々名城や八重瀬岳、破名城の郷ビーチ、具志頭城址やぐしちゃん浜など、深い緑と美しい海辺を有し、その美しい景観が訪れる人の心を癒してくれます。

豊かな自然が残る一方、近年は北部地域を中心に、国道507号線の拡張や伊覇・屋宜原土地区画整理事業などの整備を実施。都市的な開発が進み、田園と都市が調和するまちとして日々変貌しています。



## ギーザバンタ

慶座絶壁(ギーザバンタ)は、八重瀬町の南端、平和祈念公園に続く海から垂直にそびえる標高40mの琉球石灰岩の海食崖。地下ダムの余剰水が放水される「慶座の滝」もあり、絶景ポイントとして知られています。その一方で沖縄戦時に、追い詰められた人々がこの崖から身を投げたという悲しい歴史も背負っています。



ひろがる自然  
NATURE



## ハナンダー(自然橋)

琉球石灰岩の浸食により生成された天然の橋。橋のある場所は町南部一帯の雨水が合流する川で、その水が浸食することで、大きな太鼓型の天然橋になりました。以前は川に橋を架ける技術がなかったため、この天然橋が交通の要所として地域住民に広く利用されていました。また、国の登録記念物(名勝地関係)に指定されています。

# 美しい自然、 八重瀬自慢

八重瀬町は、美しい海と心を癒す緑のどかな田園など、昔から変わらない風景がそこかしこに残り、いつでも自然を身近に感じられるまちです。

南部の海岸線には雄大な海蝕崖が形成され、他の追従を許さない風光明媚な景観を生み出しています。さらに自然が作りあげた肥沃な大地は、目にも鮮やかな農作物を育み、豊潤な恵みを与えてくれます。そしてこのような豊かな自然の中にこそ、私たちの豊かな暮らしが存在し得るのです。

地球温暖化等の環境問題が、世界的に大きく取り上げられる昨今。そのような時代において、貴重な自然を守り続けることは、八重瀬町にとって重要な課題です。

「自然との共生」は、これからのまちづくりの大切なキーワードの一つです。貴重な財産である自然を次世代へ伝え残すために、自然とともにあり続けるために、わたしたちができることは、自然の素晴らしさを改めて見直し、人と自然が調和できるまちづくりの推進に他なりません。

### フクギ並木

1613年に具志頭間切の番所が設置されたのちに、番所や隣接する各屋敷の防風、防火林として植栽されたものの一部です。今では全長約150mにわたる並木林が形成され、古いもので推定樹齢100~300年もの木々が見られます。貴重な文化財として町の指定を受けています。



### ホロホローの森

具志頭に広がる森に伸びる遊歩道一帯の愛称です。この地域はサンゴ礁由来の石灰岩からできており、北部のやんばるの森とは異なる特有の植物を鑑賞できます。道は地形に合わせて作られているため山あり谷ありますが、歩きやすく整備されています。



### 世名城のガジュマル

幹回り23.5m、高さ10.3mの巨木で、樹齢は推定で250年といわれています。沖縄県環境保健部自然保護課実施の「昭和63年度巨樹巨木林調査」において沖縄一の巨木に選ばれました。学術的価値も高く、また地域のシンボルとして人々に親しまれています。

### 玻名城の郷ビーチ

アヒルに似た巨岩があることから「アヒラブリ」とも呼ばれるビーチ。干潮時には環礁が多く見られ、岩場に住むウニや熱帯魚、サンゴなどを、海に潜ることなく、歩いて鑑賞できます。また世界的にも貴重な海藻類「カサノリ」が群生することでも知られています。



# ひろがる産業

INDUSTRY

## 自然の恵みから広がる町の特産品

八重瀬町には地の利を活かし、知恵と技術が生んだ商品がたくさんあります。太陽の光をたっぷりあびた彩り豊かな農作物、新鮮な魚介類。海と大地の活力があふれる産業が今日も生まれています。



豊かな自然を  
活かした  
まちづくり

肥沃な大地、多くの河川、地下水がもたらす豊富な水に恵まれた八重瀬町は、昔から農業を基本に発展してきました。現在も農業を主軸としたまちづくりを展開しており、さとうきびやピーマン、レタス、ゴーヤー、オクラ、紅いも、洋ラン、小菊、マンゴー、ドラゴンフルーツなど、野菜から果物、花まで、彩り鮮やかな作物が数多く生産されています。また、太陽の光をいっぱいに浴びて育まれたこれらの農産物を利用して、多くの特産品の開発も積極的に行われています。また、生産と消費、販売をつなぐ「地産地消」の取り組みも活発です。

農作物に加え、八重瀬町は太平洋という豊かな漁場を有しており、海の幸も豊富です。町内唯一の漁業集落、港川では、新鮮な魚介類が水揚げされ、競り売りではうみんちゅたちの活気ある声の日々飛び交っています。近年では、泡盛、黒糖、染物、加工食品、資源リサイクル品の生産など商工業も活気付き、海と大地の活力あふれる産業の舞台として、一層の活性化を遂げています。



大きくて肉厚のピーマンは甘みがあり、子どもたちからも人気です。おすすめの食べ方は生で丸かじり。

## 程よい田舎で育った丸かじりできるピーマン

「安心・安全であることを前提に、味も見た目も最高のピーマンを目指しています」。そう語るのは、2010年からぐしちゃんピーマン作りに取り組んでいる仲宗根さんです。実は仲宗根さん、以前は出版社でカメラマン・編集者として活動をされていましたが、子どもが生まれることをきっかけに、残業がなく、長く続けられる仕事に転職することを決意。浦添市から子育てしやすい八重瀬町にUターンし、畑のための土地を借り、町の特産品である「ちぐさ」という品種のピーマン作りをスタートさせました。八重

瀬町のちぐさ出荷量は年間1000トン以上。全国でも上位の出荷量を誇ります。こちらの畑では、農薬使用量を極力抑えるために害虫駆除対策としてクレオメを植え、害虫の天敵カスミカメムシを自然発生させて利用。農薬使用量はグンと減ったそうです。「八重瀬町の魅力は子育てがしやすい、ノンビリしている『ちょうどいい田舎』です。開発で便利になるのも嬉しいですが、変わらない部分も大切にしたい」と仲宗根さんは話します。



1,300坪の畑を夫婦で管理。年間の出荷量は60tほどです。仲宗根さんが八重瀬町に期待することは「もっと第一次産業が元気な町になること」。

# 沖縄県の拠点産地に 認定された八重瀬町が 誇る野菜たち

沖縄県では、沖縄県農林水産業振興計画に基づき戦略品目を定め、生産振興を図るため、「定時」「定量」「定品質」の出荷ができる拠点産地を定めています。肥沃な大地に恵まれ、古くから農業の盛んな地域である八重瀬町は、ピーマン、紅芋、マンゴー、オクラなど6つの農産物が拠点産地として認定されています。

今後も八重瀬町では農業を基幹産業と位置づけ、農薬用水の確保、機械化による農作業の効率化などに加え、農作物の品質向上、流通の強化を進め、市場に信頼される八重瀬ブランドの確立を進めています。  
また、農業従事者の減少・高齢化が進むなか、農作物を生産するだけでなく、機械化推進による担い手や新規就農者の育成に取り組み、農業をしやすい環境づくりを推進しています。



## オクラ

7月が旬のオクラは食物繊維を多く含み、整腸作用があるといわれています。



## ピーマン

八重瀬町では「ちぐさ」という品種が育てられていて、全国的にも上位の出荷量を誇ります。

## 小菊

沖縄の小菊は全国一位の出荷量。なかでも八重瀬町は拠点産地に認定されています。



## インゲン

冬場のインゲンは沖縄が種生産地。八重瀬町は2011年に生産拠点になりました。



## 紅いも

水はけのよい八重瀬町の土壌は芋作りに最適で、多くの品種が育てられています。



## マンゴー

八重瀬町の太陽をたっぷり浴びて育った実は柔らかく、とてもジューシー。

## カラフルベジタブルとは？

町の彩り豊かな農産物をカラフル・ベジタブル＝「カラベジ」とネーミング。カラベジとは、「カラベジプロジェクト推進委員会」が3つの独自基準を設けて認証した「カラベジファーマー」が作る農産物のことをいい、カラベジを使った商品開発やクッキング教室、ワークショップを通じて八重瀬町の知名度アップと地域活性化のために様々な活動を行っています。これからもカラベジを通じて生活者のみなさんと食や農業、循環型社会について考えていきます。



# 八重瀬町の事業

八重瀬町には地の利を活かし、知恵と技術が生んだものがたくさんあります。  
乳業、マグロ、ソデイカなど町を代表する自慢品々をご紹介します。

## 乳業

### バイオガスプラントで目指す 地域循環型の社会形成

「八重瀬町バイオガスプラント」では、主に乳用牛などの家畜排せつ物や、食品残さ由来のバイオガスを生成し、場内施設の電力・加温や、地域内の熱源として利用することで温室効果ガスを削減し、地域循環型社会を目指します。また副産物である液肥を適切にサトウキビや牧草地へ利用することで、肥料成分の有効利用と化学肥料の使用の削減を同時に行い、耕畜連携にも取り組んでいます。



さとうきび液肥散布車



液肥タンクと発電機

## マグロ

### キハダやメバチマグロは 新鮮なまま市場へ

11～2月に旬を迎えるマグロ。八重瀬町では主にキハダやメバチなどのマグロが水揚げされます。漁では、港川に伝わる伝統の「石巻落とし漁」という、餌と針を巻きつけた琉球石灰岩をポイントに落とす方法で釣りあげます。通常2、3日は魚に出るところ、この方法であれば日帰りで戻ることが多いので、その分新鮮なマグロを市場に出すことが可能です。



## ソデイカ

### 濃厚な味が大人気 港川に揚がるソデイカ

11月に解禁され、翌5月まで漁が続くソデイカ。港川では、漁業組合が中心になって小型船によるソデイカ漁が営まれています。価格は、一般流通ソデイカの胴部分の半値以下ととてもリーズナブルですが、味は濃厚で美味。またかつては硬過ぎるからと、捨てたりマグロ漁の餌にしたりしたというミミを、企業秘密の方法で柔らかくして揚げた「いちゃいちゃ」という加工品が、港川のパヤオ鮮魚店で販売され、おやつやおつまみに人気を博しています。



# 八重瀬のふるさと納税返礼品

町の特産品を中心に魅力がたくさん詰まったふるさと納税の返礼品をご紹介します。



## 甘くて美味しい 厳選・完熟マンゴー

日照時間、土壌、適度な涼風などマンゴー栽培に最適な環境で育った、芳醇で甘みたっぷりの濃厚なマンゴー。



## しらかわファームの ドラゴンフルーツ

完熟で収穫した赤果実のドラゴンフルーツ！すっきりとした甘さのドラゴンフルーツをお届けします。



## かみなり農園の アテモヤ

「アテモヤ」は、甘みが強く、上品な香りで、「森のアイスクリーム」と称されるフルーツです。



## ぐしちゃん銀バナナ農園の 銀バナナ

沖縄本島南部、八重瀬町具志頭で太陽(ティーン)の光をサンサンと浴びて育った「ぐしちゃん銀バナナ」。



## みどり食品の 満足たっぷり あぐー豚まん(肉まん)

うま味と甘味が特徴の沖縄県産あぐー豚を使用した豚まんです。あぐー豚のうま味と甘味を引き立てる、ふかふか・もちりの皮で包みました。



## 福まる農場の ブランド豚・キビまる豚 3頭分アラカルトセット

厳選されたサトウキビ(糖蜜)、紅芋、沖縄県産の薬草を飼料として与え味もまろやかで甘みのある「キビまる豚」3頭分を毎月1回の計12回に分けてお届けしています。



## 沖縄食鶏の やんばる若どり オリジナルローストチキン

指定農場で飼育された山原若鳥を八重瀬町の工場加工したオリジナルのローストチキン。一羽まるごとのボリュームでお肉はジューシーで柔らかく、にんにくを利かした醤油ベースの味わい。



## 南国フーズの 南国アグー餃子

ストレスのない理想的な環境で育った沖縄南国フーズの南国アグー。そのアグー肉を使用した餃子は、ホクホク、ジューシーで一度食べると忘れられません！



## 白水養殖の 活きメ急速冷凍車エビ

白水養殖の車エビは、海洋深層水で稚エビから育てています。餌は国産を使用し、身のしまり、赤白模様の美しさ、活きの良さが自慢です。プリプリとした食感と、独特の甘みの高品質な車エビ。

## denenおきなわの 旬なカラフル野菜 つめ合わせセット

「美味しさ」「新鮮さ」「色鮮やかさ」が揃った八重瀬町産の野菜セット。旬の野菜をお届けするので、季節によって詰め合わせの内容は変動あり。時季によってはマンゴーやバナナなどの旬の果物も含まれます。





### ヤマト農園の マンゴーバタージャム3個セット

自社農園の完熟マンゴーを使用し、果物の色合いや濃厚な甘み、香りを活かすように原料はできるだけシンプルにバターを合わせることで濃厚で豊かな風味を楽しめる自慢のジャムです。



### 白川ファームの 手づくりジャム(6種類)

八重瀬町で収穫した果物をオリジナルのジャムにした「白川ファームの手作りまるごとジャム」。着色料や香料、保存料は一切使わず、果実本来の甘さを楽しめます。



### 手造り黒糖工房 上地屋の 琉球干菓子セット

沖縄のサトウキビから出来た黒糖、粗糖のみを使用し、熟練された職人の経験と伝承の技で、丹念に造っています。上地屋こだわりの手造り製法から生み出される、まろやかな甘みをお楽しみください。



### AKAHIROジェラートの おまかせ詰合せ5個セット

季節のフルーツの素材を生かしたジェラート。1年を通して、定番のジェラートから期間限定のジェラートまで様々な味わいが楽しめます。



### 株式会社はるとの お得な沖縄珍味 ジャーキーセット【8種16袋セット】

砂肝ジャーキー、とりかわジャーキー、オリオンビール酵母入りジャーキーなどの詰め合わせセット。噛めば噛むほどに味が染み出てジューシー。お酒や行楽のお供に最適です。



### 神谷酒造の 原酒50度720ml(8年古酒)

8年間の熟成を経て醸し出したキャラメル香と深い甘さが特徴の「原酒」。ろ過をしないため、泡盛の本来もつ旨味や甘みが残ったまま熟成しています。



### グレインの 琉球松と革で作った キーケース

沖縄の県木に指定されている琉球松と革を縫い合わせて制作したキーケース。使えば使うほど色つやが出てきます。



### しよんの メガネケース

17世紀中頃、中国から伝わったと言われ、立体感のある織が特徴の「ロートン織」を使用したメガネケース。



### 琉球帆布のお散歩バッグ (POKKE104デイゴの髪飾り)

人気イラストレーターpokke104さんとコラボしたお散歩バッグ。「ちょっとそこまで」に丁度いい大きさです。



### デイセンターこちのなーの 富盛の石彫大獅子【レプリカ】 2体セット

八重瀬町のシンボルでもある富盛の石彫大獅子のレプリカです。「クリア」と「素焼き」の2つをセットにしました。



### ようざん窯の 泡盛酒器セット

泡盛をよりおいしくいただくための酒器セット。沖縄の土を原料にひとつひとつ丁寧に仕上げたやちむんです。



### 太希おきなわの 琉球みやらびこけし 3体セット(台座付き)

伝統こけしのろくろ技術に繊細な描彩技法を駆使して創作された「琉球みやらびこけし」。

## 八重瀬町 ふるさと納税 info



八重瀬町ふるさと納税の情報はこちらから！  
(町ホームページ)



### ザ・サザンリンクスリゾートの宿泊、 ゴルフ利用クーポン

海越えショットを含む、沖縄の豊かな自然に恵まれたゴルフコースと全室から沖縄の青い海が一望できる絶景リゾートホテル。最高のロケーションで大切なひと時をお過ごしください。



八重瀬  
8つの魅力

みんなでひろがる。

LINKING PEOPLE TOGETHER

民俗芸能を未来へ。

地域を愛し、伝統の行事や自然を守るために日々活動。  
個性と魅力にあふれる八重瀬町の民俗芸能を紹介します。





世名城のウスデーク



ぐしちゃん青年エイサー



字東風平の棒術

## 地域で息づく民俗芸能

八重瀬町では、各地域で行事にまつわるさまざまな民俗芸能が受け継がれてきました。

厄災を祓い五穀豊穡をもたらすとされる「獅子舞」は、ムラの守り神として4つの地域に継承されています。琉球王府時代から演じられている獅子舞は、沖繩戦によって獅子頭が失われました。生活基盤の整わない中でも人々は、戦後すぐに獅子頭を作り心のよりどころとし、現在も旧暦八月十五夜行事に披露されます。

旧暦八月十五夜では、獅子舞の他にも様々な民俗芸能が披露されます。なかでも「棒術」はとくに盛んで、11の地域で継承されています。

ます。力強い勇壮な演武は、邪気を祓い座清めとして拝所などでも演武され、その技や演目、伝承の経緯に地域ごとの特色が見られます。

町指定無形民俗文化財である「安里」と「世名城」の「臼太鼓」ウスデークまたはウフデーク」は、約180年から200年前に始まったと伝えられています。集落の繁栄や五穀豊穡を願う、女性のみで演舞されます。鼓を持つ音頭取りを先頭に、扇子を持った手踊りが続き唄いながら踊ります。安里は旧暦7月17日、世名城は旧暦8月15日にそれぞれ披露されます。

特色ある民俗芸能は他にも「新城のシーヤーマー」や富盛の「唐人行列」「大和人行列」などがあり、それぞれ町の無形民俗文化財に指定されています。

これらの民俗芸能は、旧盆や十五夜豊年祭などの行事の中で披露されます。その根底には、祖先への感謝や地域の繁栄、五穀豊穡などの「祈り」が込められており、これまで大切に継承されてきました。

平成26年には各地域の民俗芸能保存会が結集して八重瀬町民俗芸能連絡協議会が設立され、民俗芸能の保存・継承を推進しています。



友寄の獅子舞

### 八重瀬町指定無形民俗文化財一覧

富盛の唐人行列 富盛の大和人行列  
富盛の女行列 世名城の臼太鼓  
玻名城の獅子舞 新城のシーヤーマー  
安里の臼太鼓



新城のシーヤーマー



安里の綱引き



富盛の道ジュネー

# 先人が残してくれた”財産“を 次代に受け継いでいきたい

字東風平の獅子舞は、レプリカが存在しない獅子として知られています。また、33年ごとに獅子頭を焼き、新しい獅子頭を移して代替わりを行うのも特徴です。獅子の交代儀式は、氏神拝殿で御願した後に、古い獅子の頭の毛を3本新しい獅子に植え付け、獅子の魂を移し替えます。その後、獅子の墓であるシーサー毛で古いシーサーを火葬します。

近年、字東風平では、豊年祭で獅子舞を演ずる保安員(ジュウニン頭)を選出するのに苦慮していました。ジュウニン頭は字東風平に伝わる役目で、旧暦の7月16日に開催される綱引きと、八月十五夜祭(豊年祭)を成功させるために集められる実行委員のようなものです。12人で構成され、任期は1年間。一生に一度はつとめなければならぬこともあって、部落の中から毎年青壮年を12人選ぶのですが、成り手が減っています。このような状況がずっと続いていることから「このままでは衰退していつてしまう」と危機感を覚え、2022年に字東風平獅子舞保存会を立ち上げました。記録に残る資料でも、ジュウニン頭について「保存会等を設置することで継続して話し合いを持つ

こと」とあり、その必要性を当時の役員会でも認識していたと思われる。加入希望者を募るため、私たちは字東風平全世帯にチラシを配布し、興味のある若者には直接声がけをしています。獅子舞は字東風平の誇りとするものであり、字東風平獅子舞保存会への会員加入が期待されます。

五穀豊穰や無病息災、安全を祈願する十五夜豊年祭は、先人たちが残してくれた大事な行事のひとつで、私たちの財産です。毎年継続して開催できていることは字東風平の誇りで、今後も末長く発展させていかなければなりません。



字東風平の獅子舞

字東風平獅子舞保存会

書記・会計 中村通孝さん / 副会長 我如古健輝さん / 会長 金城毅さん / 相談役 浦崎一郎さん (2023年3月撮影)



# Interview

## 継承する喜び



町に伝わる伝統芸能にはそれぞれの特徴と深い歴史があり、次世代へ継承するために様々な思いがあります。



継承者の声 破名城獅子舞保存会 仲村幸斗さん

### 子どもたちが継承したくなる 仕組みづくりを

破名城の獅子舞は、地域の守り神として大切に受け継がれてきました。旧暦の7月16日には集落の通りを練り歩く道ジュネーを、十五夜には舞台上で獅子舞を披露します。平成元年に立ち上がった保存会は年齢層が高めで、後継者不足が問題になっています。私は高校を卒業してから入会し、獅子舞を継承しています。1回舞うとくたくたに疲れてしまうほど体力を使うので、若い人でないと厳しいですね…。先輩方から受け継いだ伝統文化を、今の子どもたちに繋げていきたいです。



継承者の声 志多伯獅子舞棒術保存会 神谷尚希さん

### 300年続く獅子舞を 継承したい

平成9年に立ち上げたのが志多伯獅子舞棒術保存会です。志多伯の獅子舞は約300年の歴史があり、豊年祭に演舞が披露されます。開催時期は法要周期と同様。1、3、7、13、25、33年忌の節目に当たる年にだけ行われ、33年忌が終わると翌年から初年忌に戻り、同様に繰り返して行われます。現在メンバーは30名ほど。課題は、伝統を次世代に繋いでいくこと。若手に興味・関心を持ってもらえるよう、公民館で様々なイベントを企画しています。



継承者の声 具志頭汗水節保存会 会長 新垣好惟さん

### 沖縄民謡“汗水節”を 正しく伝えたい

勤労の尊さや社会奉仕の心を説いた教訓歌「汗水節」は、沖縄を代表する教訓歌として沖縄やハワイ、南米の沖縄県人会でも親しまれていますが、ちまたで歌われている汗水節は一部本歌と異なるところも。平成元年に立ち上げた具志頭汗水節保存会は、本来の歌詞を一語一句変えることなく歌い繋いでいます。現在会員は18名ほど。高齢化に伴って活動参加者は減少していますが、若者へ語り継ぎ、伝えていくことは重要なので、日々の活動に取り組んでいます。



# 未来ひろがる暮らし

COMFORTABLE LIVING ENVIRONMENT

## 環境が育む町での暮らしやすさ

充実した子育て環境や高齢者でも暮らしやすい整った施設。  
自然を活かした公園など「暮らしやすさ」から町を紹介。



子育て  
Topics!!

2022年オープン!!



### 八重瀬町図書館・こども学習センター

子育て世代が増え、学童や学習スペースへのニーズの高まりを受けて建てられた公民連携の複合施設です。2階と3階が図書館・こども学習センターで、図書の貸出や学習スペース、親子で楽しめるキッズスペースなどを設けており、月に1回、えほんの読み聞かせ会を開催しています。



### サイト紹介

八重瀬町では、行政情報発信の強化を目指し、公式SNSサイト(Facebook、Instagram、LINE)を運営し、八重瀬にまつわる情報を随時発信しています。



LINE 公式 LINE



Facebook



Instagram

# 子育て

## 子育て・保育 教育環境の充実

幼児教育から学校教育まで、豊かな学びのあるまちづくりを進めています。好奇心旺盛であり、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期にある幼児期の子どもたちに対しては、子育て・保育・教育環境を充実し、母子への切れ目ない支援に取り組みます。また児童、生徒に対しては、教育環境や教育相談、指導体制を整え、保幼小及び小中が連携し、子ども一人ひとりの個性に合った教育による学力向上を推進し、子どもたちがストレスなく学習やスポーツに励めるよう、良好な学習環境を創出します。



### 切れ目のない支援で子育てできる環境づくり 子育て支援センターぴっぴ

ぴっぴは、乳幼児を持つ親子が好きな時間に来所して、ゆったりと過ごせる空間を提供しています。

子育てにおいて不安や悩みを抱え環境も様々な中で、子育てに日々奮闘していらっしゃるお母さん・お父さんに、ぴっぴでは、お子さんが楽しく遊び子育てについて、お互いの情報交換をしたり何気ないおしゃべりを楽しんだり、皆さんにとって寄り添える・くつろげる場所にできれば嬉しいです。



### 保幼小連携プロジェクト

幼児教育と小学校教育をつなぎ、幼児期の育ちと学びを小学校に生かせるよう支援する事業です。

公開授業や公開保育・先生たちの合同研修会などの活動を通して、役場(児童家庭課)・教育委員会(学校教育課)・保育園・幼稚園・こども園・小学校が「子ども中心」に対話主体で研究を進めています。



### 地域学校協働活動の推進

高齢者、成人、学生、保護者などの他、民間企業や団体等の幅広い人材の参画の下、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校の支援及び、地域活性化への波及を目的とした地域・協働コーディネート活動を展開しています。

子供たちが地域や企業に出向いて学習を行ったり、学校での体験活動や講話等を実施しています。





仲座公民館ミニデイサービスの様子

## 「結の心」で支え合う 健康・福祉のまちへ

## 福祉

子どもから高齢者、障害の有無や男女を問わず、全ての町民が住み慣れた地域社会の中で安心して暮らすことができるよう、地域共生社会を目指すことを指針に、住民、事業所、行政がともに支援を必要とする人を支える地域福祉活動を推進しています。そのため、住民が地域と連携しながら地域単位の福祉を展開し、サービスの総合的、体系的な提供を行っています。そして地域住民を主体として「結の心」で支え合い、誰もが生き生きと暮らし、助け合える福祉のまちづくりに取り組んでいます。



### 介護予防ボランティア

介護予防ボランティアは、各区に教室を立ち上げ、それぞれが、「集いの場」となり、地域の「顔見知り」から教室に参加する「仲間」へと発展しています。そこから、地域で新たな社会が生まれ、自主的な活動を計画し、それぞれが実行しています。



### ミニデイサービス

町のミニデイサービスでは、高齢者が要介護状態になることの予防や、要介護状態等の軽減、または悪化の予防することを目的に、日常的にからだを動かすことを習慣化するように運動やレクリエーションなどに取り組んでいます。



## 公園

### 豊かな自然を 活かした町内の公園

町内には大小様々な公園が点在しており、自然を活かした公園や、街の中に作られた公園など、ノンビリとした雰囲気の特徴の公園が象徴的です。町民を中心に週末には親子連れや運動の為に身体を動かす方に利用されています。



### 西部プラザ公園

木々が生き茂る自然豊かな公園です。園内は3集落の拝所が点在し、石畳で整備された「ウマチーロード」や展望台などが備えられ、町内随一の散策スポットになっています。またパークゴルフ場のほか、新たに遊具の設備も行っており、幅広い世代で楽しめる公園となっています。

DATA 当銘282



ながたじょうばる

### 長田門原公園

沖縄県立島尻特別支援学校に隣接し、幼児用から児童用の遊具が設置されています。また、男女別、バリアフリー対応のトイレや、無料で利用できるパークゴルフ場も整備され、幅広い世代が利用できます。

DATA 宜次278-1



### 屋宜原中央公園

幼児用と児童用のコンビネーション遊具が設置され、中央に多目的広場がある公園です。隣には八重瀬町図書館・こども学習センターがあり、帰りに本を借りるのもオススメです。

DATA 屋宜原公民館(屋宜原147-1)となり



### 東風平運動公園内遊具

コンビネーション遊具やロープウェイがあり、幅広い年齢の子どもたちが楽しめる場所です。駐車場も広いので家族でも訪れやすい場所です。

DATA 東風平1076



### 港川公民館前広場

芝生広場と遊具があり、地域の保育園や子どもたちの遊び場になっています。芝生広場では地域のお祭りなども行われ、住民の憩いの場としても利用されています。

DATA 港川381-5



# かりゆし58 前川真悟さん

かりゆし58のボーカルとしての活躍に留まらず、近年では、ソロ活動や、企画プロデュースなど活動の幅を広げる前川さん。八重瀬町出身である彼に町の魅力と思い出を聞きました。

■八重瀬町での思い出を教えてください。

忘れたこともたくさんありますが(笑)少年野球での思い出が印象的です。私は、白川小学校に通っていたのですが、当時、1学年3クラスくらいずつの普通のクラス数だったのですが、野球の町内大会があると隣の東風平小学校と合わせて各団地から20チームくらいが出場して。当時は、どの子どもも大体、どこかの少年野球チームに所属していたので、大会の時には大盛り上がりでしたよ。

■八重瀬町の良いところを教えてください。

先ほどの少年野球の話の続きになりますが、当時、少年野球を通して、先輩からいいことも悪いことも教わったり、子どもが子どもの面倒を見ながら肌で人間関係や社会というものを感じていました。コーチがいるチームもあったのですが、基本、平日は公民館で子どもたちだけで集まって練習していたので、子どもが育つにはとても良い環境だと思います。今では、僕が通っていた時より優秀な生徒が小学校から誕生したりもしているのです。そういった良質な子育て環境の蓄積により年々子どもたちの質も上がっているように感じますね。

■近年で八重瀬町との関わりを教えてください。

コロナ禍になって少し間は空いしまっていますが、母校である白川

小学校で、夏休みに親子レクとして星空観測会が開催された時に星空を見ながらライブをしたり、知り合いの消防士の仲間とプロジェクトセッションマッピングを開催したり、とにかく、自分の地元や母校を使って、エンターテインメントを提供してきました。子どもたちの描く絵日記がその日だけは、皆一緒のことみないのって、マンガの一コマみたいで何かいいじゃないですか。なので、これからも町からオファーが頂けるなら、地元の行事にも参加していきたいです。

■最後に読者の皆さんへメッセージをお願いします。

八重瀬町が誕生したのと、かりゆし58のバンド結成がほぼ同じ年代で、僕らは、毎日暮らす八重瀬町の景色が全てだったし、それをスケッチするように音楽を作ってきました。自分たちが暮らしてきた時と比べると色々とは発展を遂げていますが、東風平には自然豊かな田園風景があり、具志頭には美しい海が今でもあります。景色はもちろん、音楽面においても、古くから伝わる伝統芸能も盛んで、深い歴史と共に受け継がれてきました。それを含めて、八重瀬町は、昔から色褪せない素敵な魅力で溢れているので、地元の方はそれを再認識しながら、県内外の方へも発信して欲しいですね。

時代は流れても  
変わらぬもの  
それが町の魅力

## 前川真悟(まえかわ しんご)

1981年沖縄県八重瀬町生まれ。4人組バンド「かりゆし58」のボーカル、ベース、ギターを担当。2006年発表の「アンマー」で日本有線大賞新人賞。2018年、前川商事を設立し、企画プロデュース・楽曲提供など活動の幅を広げる。



八重瀬を盛り上げる

## 八重瀬の輝く人



女性が輝けるきっかけを作りたい！

一歩踏み出せる環境づくり

沖縄ガールズスクエアは、新しいことを始めたい女性を応援するコミュニティ。代表の岩淵さんは「一歩踏み出したくても踏み出せない子育て中のママさんたちが数多くいらっしゃるのを感じていました」と話し、そんな女性たちが活躍できるようサポートをしています。2019年に那覇から八重瀬町に拠点を移し、気軽に立ち寄ることができるコミュニティカフェ「はたけかふえ。」もオープン。地域の魅力も発信しています。「八重瀬町にはまだ世に出ていない魅力がたくさんあり、大きな可能性を秘めていると思います。自然が豊かで、ピュアな心を持った方が多いですね。そんな方たちが活躍できる場が増えたら嬉しいです」と岩淵さん。商工会と連携し、地域に根差した取り組みも進めています。

### <岩淵裕子>

沖縄ガールズスクエア代表／女性起業サポーター  
ガールズスクエア認定女性起業サポーターとして、自分らしく新しいことにチャレンジする女性が活躍できる場づくりと、その女性を応援するために地域で活躍する女性起業サポーターの輪を広げることに全力で取り組んでいる。



ずっと今のままであってほしい

『心休まる場所』

幼い頃から民謡や三線に触れ、現在は民謡歌手として国内外で活躍されている新垣成世さんは、生まれ育った八重瀬町について“心休まる場所”と話します。ふとした時に立ち寄る場所は、人がほとんどいない穴場スポット「具志頭(ぐしちゃん)浜」。「中学生の頃は部活の帰りによく立ち寄りました。今でも、疲れた時や息抜きをしたい時、コンクールの前で心が落ち着かない時には自然と足が向きます。都市化することなく、このまま変わらない八重瀬町であってほしい」と新垣さん。八重瀬町出身者が作詞した「汗水節(あしみじぶし)」は働くことの尊さを歌った民謡で、新垣さんも思い入れがあるそうです。

### <新垣成世>

1993年、八重瀬町生まれ。7歳から歌・三線に親しみ、平成26年には民謡大賞を受賞。令和3年には新唄大賞でグランプリを受賞。「伝統芸能も新歌も大切に」という思いを常に持ち、県内外、そして北京・上海・インド・フィリピンなどを巡り、活動を行っている。



県内外で注目を浴びる八重瀬町の彼ら。八重瀬町を盛り上げてくれる彼らのこれからが楽しみ！  
そんな彼らの八重瀬町への思いを伺いました。



「みそシフォン」を製造・販売する「菊みそ加工所 夢工房」の代表 平安名さんは、お母様から受け継いだ昔ながらの無添加みそを守りつつ、新しい取り組みにも果敢にチャレンジされています。「子どもたちが安心して食べられる」をコンセプトに身体に優しい商品作りを心がけ、最近では「命を大事にしたいので、できる範囲で動物性食品の使用を控えたい」と肉の代わりに大豆ミートを使った大豆ミートみそを開発。そんな平安名さんが感じている八重瀬町の魅力は「自然が豊かなところ。スーパーマーケットや銀行、飲食店もあるので、日常生活の中で不便だと感じることもありません」と話します。

#### <平安名陽子>

1987年に先代が始めたみそ加工所を、2005年に洋子さんがリニューアルオープン。国産大豆、国産米、県産の塩で造る昔ながらの手造り無添加みそを使った調味料や焼き菓子を製造・販売。みんなが笑顔になる商品づくりを常に心がけ、これまで様々な県産食材や町産品を活用した商品を開発してきました。

人も動物も安心して暮らせる町  
快適に暮らせる程よい田舎



泡盛酒造所の杜氏や僧侶、医師、議員、看板・木工職人など異業種が集まる507通り会は「南部の中心地」と呼ばれるにふさわしいまちづくりをするため、2012年8月に結成されました。ここ数年で目まぐるしい発展を遂げ、沖縄県内の“住みたい街ランキング”では上位に挙がる八重瀬町。さらに価値を高めるため、環境の整備やイベント・ボランティアなどで地域に貢献し“人と人”を結び、地域の活性化に繋がります。程よい田舎ですが、那覇や高速インターチェンジも近く、子育て世代や若者からも注目されている街。会長は「自然は大切に残しつつ、住みやすい暮らしができるようにしていきたいです」と話します。

#### <八重瀬町507通り会>

国道507号の外間から富盛までの約7キロメートルを範囲とした「沖縄一の長さを誇る通り会」。事業者間の交流を深め情報を共有・活用し、環境の整備やイベント・ボランティア等で地域に貢献し、町を活性化することなどを目的に設立。

### 八重瀬町の価値を高めながら 地域活性化を目指していきたい





# スポーツで夢ひろがる

EXPANDING OUR FUTURE WITH SPORTS

充実したスポーツ環境で豊かに。

町内には、大小様々なスポーツ施設があり、目的に応じた利用が可能です。



スポーツを  
通じての  
まちづくり

子ども、高齢者、障がい者を問わず、誰もがそれぞれの体力や年齢、技術・興味・目的に応じてスポーツに親しみ、体力と健康を育むことのできる環境づくりに努めています。そのために、住民が主体的に参加でき、利用しやすい公共スポーツ施設等の環境を作ることが必要と考え、体育館や陸上競技場、野球場、サッカー場、テニス場などを有する「東風平運動公園」をはじめ町内各地の多目的広場、新規の施設として「スポーツ観光交流施設」と「健康増進機能強化施設」を整備するなど、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を推進しています。また、各種スポーツ大会や教室、軽スポーツなど様々な機会を創出しながら、スポーツ活動をサポートできる人材の育成にも取り組んでいます。さらにプロスポーツチームのキャンプ誘致と合わせてトップアスリートによるスポーツ教室を開催するなど、住民の生活のより身近にスポーツがあり、気軽にスポーツに親しめるような環境を整備しています。

## 八重瀬町スポーツ観光交流施設

令和4年8月にオープンした八重瀬町スポーツ観光交流施設は、天然芝のサッカー場と人工芝のフットサル場、Jリーグライセンス基準を兼ね備えた管理棟(トレーニング施設、会議室等)が備わっています。一般利用だけでなく、各種スポーツキャンプやプロサッカーチームの練習拠点、子どもたちのサッカー大会、イベントの開催など幅広い用途で使用されています。



### トレーニング室

広々としたスペースに設置された充実のトレーニングマシン。また、ゆったり休憩のできるスペースも完備。



## 八重瀬町健康増進機能強化施設



### 具志頭パークゴルフ場

令和5年2月にオープン。全18ホールのパークゴルフ場では、子どもからお年寄りまで、八重瀬町の自然を感じながらプレイ可能です。



様々な目的に応じた  
幅広い利用が可能

## 【東風平運動公園】

広大な敷地の中には、サッカー場や、多目的広場、体育館やテニス場など様々なスポーツ施設が集まっています。充実の設備や利用のしやすさから町内外から多くの人が集まり、各種スポーツキャンプや大会なども開催されています。また敷地内の公園には週末親子連れで賑わい広い敷地の周りをマラソンする方など、目的に応じて様々な利用方法があります。





■サッカー場、多目的広場



京都サンガのサッカー教室

東風平運動公園サッカー場は近年、京都サンガF.C.や浦和レッズなどJリーグのプロサッカーチームのキャンプ地に選ばれており、地域住民はもちろん全国のサッカーファンから注目を集めています。



■体育館



■トレーニング施設



■野球場



■サブグラウンド



■陸上競技場



■テニスコート



# いにしえのときを知る 八重瀬の文化財・史跡

OUR CULTURAL ASSETS AND HISTORICAL SITES



## 八重瀬町立具志頭 歴史民俗資料館



八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館では、港川人コーナーを中央に常設しています。発見者の大山盛保氏の記録とともに発見までの経緯を紹介し、港川人1号の骨格模型や復元模型も展示するなど、八重瀬町の2万2千年の歴史を楽しく学ぶことができます。

## 日本人のルーツ「港川人」

1970年、港川採石場から完全に近い形の人骨化石が発見されました。「港川人」と名付けられ、形態的特徴や共に出土した炭化物の年代測定から約2万2千年前のものと推定されました。沖縄県でこれまでに発見された多くの人骨化石が断片的なものであるのに対して、港川人はほぼ全身の骨格がそろっており、日本人のルーツを知るための貴重な資料として位置づけられています。港川人は石灰石の裂け目（フィッシュヤー）の中に埋もれて化石になっており、そこから人骨と一緒に様々な動物の骨も見つ

かっています。すでに絶滅しているリュウキュウジカのほか、現在でも生息しているイノシシ、ヤンバルクイナなど、今のヤンバル地域に生息する動物化石が発見されています。このことから、港川人がいた約2万年前、「港川一帯」は、現在の沖縄本島北部のような大森林地帯だったと考えられています。

港川人1号(成人男性)の身長は153cm、2号(4号(女性)3体の平均身長は143cmです。体つきは小柄で、上半身は細く、下半身は発達していて筋力は強かったです。



## 富盛の石彫大獅子

火除け(火返し)として1689年設置され、フィーザン(火山)といわれる八重瀬嶽に向かって立っています。高さ1.54m、幅約50cmと、この種の獅子像としては県内最大最古を誇り、県指定有形民俗文化財に指定されています。沖縄戦では被弾しながらも今なお、地域を守り続けています。



## 八重瀬町のグスク群



多々名グスクに残る石積み

現在町内で確認されているグスク時代の城跡は10にのぼり、その多くが琉球石灰岩丘陵で確認されています。グスクは主に13世紀後半～14世紀ごろに作られており、代表的な遺跡に八重瀬グスク、多々名グスク、具志頭グスクがあり、中でも八重瀬グスクは汪英紫によって築城され、隆盛を極めたと伝えられています。



## 港川遺跡公園

港川人発見地の岩の割れ目(フィッシャー)や、採石跡のほか、断崖面で見られる地層や鍾乳石の様子も見るすることができます。この地域で1900年ごろから採石されてきたアワ石は県下に広く流通し、近代沖縄の産業に大きく寄与してきました。遺跡を含めた採石場跡一帯は「港川遺跡」として町の史跡に指定されています。

## 当銘・小城の共有龕



字当銘と小城が共有する葬具、龕(がん)は、「御拝領龕(グヘーロンガン)」と伝えられ、首里王府からの拝領によるものです。この龕を供養する年忌祭は龕甲祭と呼ばれ、死者供養と同様に、1、2、3、7、13、25、33年ごとに行われます。

## 石獅子

沖縄では災いは集落の外からやってくると信じられてきました。災いを防ぐために、富盛の石彫大獅子の設置以降、県内各地に広まった村落獅子は集落の東西南北に設置されており、八重瀬町では今でも13体の石獅子が残っています。



# 郷土の先人に学ぶ

OUR FOREFATHERS

## 沖縄の民権運動の先駆者「謝花昇」

謝花昇は1865年、東風平間切東風平村（現在の八重瀬町字東風平）の農家の長男として生まれました。幼少の頃から勉学を好んだ昇は、東風平小学校、沖縄師範学校で学んだあと、2代目の沖縄県令（現在の県知事）上杉茂憲が創設した留学制度により第1回県費留学生に選ばれ東京へ留学しました。

た。そして現在の国家公務員にあたる高等官技師として沖縄県庁に配属され、製糖法の改良や造林の指導、土地整理事業、農工銀行の設立などに携わりました。

しかし、そまやま 杣山（琉球王国時代から地元の農民たちが共同管理・育成していた山林）の開墾をめぐり、開墾による利益が役人や寄留商人など一部の者に独占されていることを知った謝花昇は、当時の県知事と対立し、県庁を退官しました。そして、仲間と政治団体「沖縄倶楽部」を結成し、機関誌

『沖縄時論』を発行して県政批判や県民の参政権獲得運動を展開しました。その後、様々な妨害にあい「沖縄倶楽部」は解散を余儀なくされ、志し半ばの44歳で病により短い生涯を閉じました。

謝花昇が亡くなってから4年後の1912年、沖縄で初めての衆議院議員選挙が実施され、ようやく県民の国政参加が実現しました。同選挙が全国で初めて実施されてから22年後のことでした。



東風平運動公園の高台に設置された銅像です。銅像までの道のりには謝花昇が病没した年齢と同じ44段の階段が続いています。実際に階段を数えてみてはいかがでしょうか。



### 謝花昇コーナー

八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館では、謝花昇の関連資料を常設展示しています。第1回県費留学生たちと撮影した写真や、学習院中学時代の成績表、県庁時代の写真まで、さまざまな資料から謝花昇の44年に及ぶ生涯を追い、その功績を学ぶことができます。



# 働く喜びを歌い、 社会奉仕を説く教訓歌「汗水節」

「汗水節」が誕生した昭和3年頃の沖繩は貧窮の真っ只中で、新天地を求め移民ブームが続いていました。県では沖繩県振興計画を実施し、農民に自力更生・勤儉貯蓄を推奨していました。

そのような状況下で、昭和天皇の即位を記念した事業の一環として、沖繩県では勤儉貯蓄についての論文・民謡・童謡の募集が行われました。民謡の部で3位（1位、2位の該当はなかった）に入選したが、「勤儉力行の奨」で応募した仲本稔氏でした。仲本氏は当時23歳の字仲座（旧具志頭村）出身者でした。

その後「汗水節」と改題され宮良長包氏により作曲されると、県民に広く知られ、歌われるようになりました。近年では汗水節に振りが付けられ、エイサーや創作舞踊などで踊られています。

本町は、仲本稔氏の生誕110周年目にあたる平成26年に「汗水節の里」宣言をし、歌詞に込められた6つの心を町ぐるみで自ら実践し、人づくり・まち興しに努めることを掲げました。

## 八重瀬町「汗水節の里」宣言 ※一部を抜粋

私たちは「汗水節」を育んだ八重瀬町を誇りとするとともに、ふるさとの貴重な文化遺産として継承し、地域社会の発展に寄与していきます。また、仲本稔生誕の地、八重瀬町を「汗水節の里」とし、歌詞に込められた六つ心を町ぐるみで自ら実践し、人づくり・まち興しに努めます。

### 「汗水節の六心」<sup>りくしん</sup>

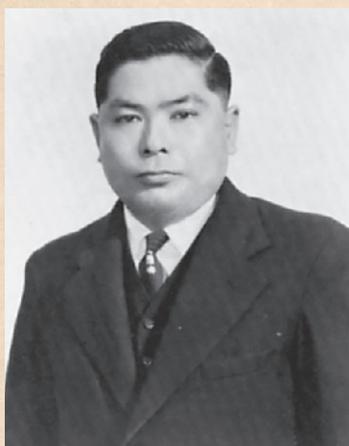
- ・勤労を尊ぶ心
- ・勤儉貯蓄の心
- ・夢と希望を育む心
- ・健康と長寿の心
- ・学問を奨励する心
- ・社会奉仕の心



具志頭汗水節保存会による集団舞踊



汗水節之碑（仲本氏の生誕80周年記念で建てられた）



作詞者 仲本 稔氏  
「成し業ん終て子や子孫栄え七十坂のぼりて別りさびら」  
仲本氏が亡くなる4年前の1973年に作った辞世の句です。「一日に五厘の無駄もなく生き抜いた人生には何も思い残すことはない」。自ら汗水節の歌心を実践し活きた仲本氏の人柄が現れています。

## 「汗水節」

汗水ゆ流ら 働ららゆる人の

心うれしさや 与所の知ゆみ

一日に五十百日に五貫

守てそこねるな 昔言葉

朝夕働ららよて 積ん立てる銭や

若松の盛い年と共に

心若々と 朝夕働まば

五六十になつても 二十歳さらみ

寄ゆる年忘て 育てたるなしぐわ

手墨字向も 汎く知らし

公衆の為も 我が為ゆと思て

百勇みいさで 尽くしみしより

作詞 仲本 稔  
作曲 宮良長包

# 八重瀬の戦跡

TOWN BATTLE SITES

八重瀬町戦争遺跡公園  
ヌヌマチガマ・ガラビガマ  
世界恒久平和を祈念する

## 八重瀬岳を中心に 犠牲となった八重瀬

第32軍が港川海岸を米軍の上陸地点の一つとして想定し、地上部隊とマルレ部隊(海の特攻部隊)が配備され、八重瀬岳のふもとは第一野戦病院が設置されました。1945年3月23日の沖縄戦開始以降、沖縄本島の地上戦により日本軍の敗北は明らかとなりましたが、八重瀬岳などが「最後の死守戦」と設定されたため戦場となり、具志頭の住民は2度にわたる日本軍の立ち退き命令を受け、戦場をさまよいました。さらに司令部のある摩文仁ヶ丘を守るために徹底抗戦を命じました。そのため、特に具志頭地域は修羅場となり、多くの住民が悲惨な最期をとげました。



第一野戦病院跡で、平和講話を行う元白梅学徒の武村豊さんと中山キクさん



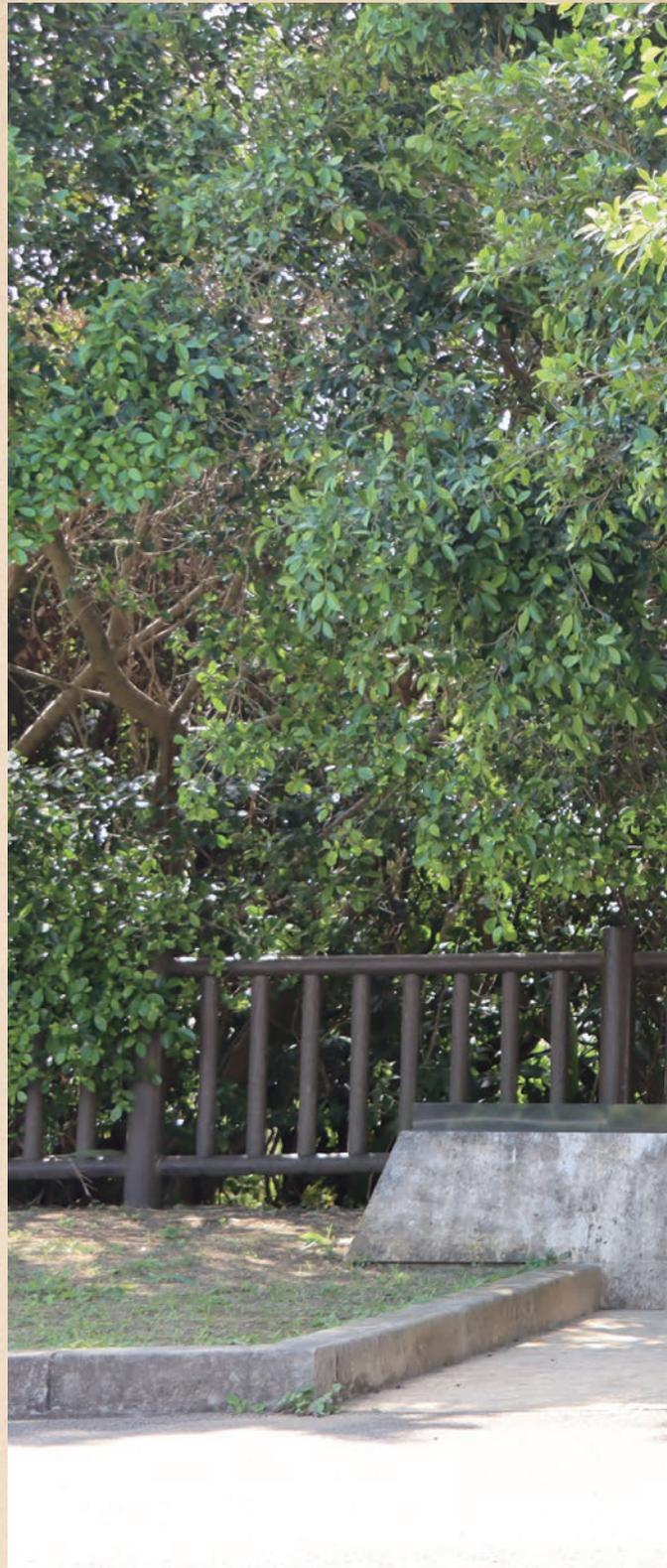
## 八重瀬町戦争遺跡公園(ヌヌマチガマ)

沖縄では自然洞穴のことを「ガマ」といい、八重瀬町戦争遺跡公園にある全長約500mのガマ(一部人口壕)の西側を「ヌヌマチガマ」と呼んでいます。戦時下のヌヌマチガマは、負傷兵を収容する病院壕として使用されていましたが、薬品等の不足により十分な治療が行えず、非常に劣悪な環境でした。現在は、戦争遺跡公園として駐車場や公衆トイレ、ガジュマルの巨木が並ぶ遊歩道などが整備され、平和教育の場として利用されています。



## クラシンウジョウ

尚巴志の三男、具志頭王子の墓だといわれ、具志頭城址の真下に位置します。沖縄戦では米軍の上陸に備え、日本軍が自然洞窟を拡張し、陣地壕にしました。壕は全長約150m、6、7カ所に出入口が設けられています。壕中にはカマド跡がある炊事場や石積みで囲った区画部分、壁にはロウソク台などが残っています。



## 第24師団第一野戦病院跡 (本部壕・手術場壕)

八重瀬岳に掘られた病院壕で、本部壕(通称:下の壕)と手術場壕(通称:上の壕)があり、軍医や看護婦、衛生兵とともに県立第二高等女学校の「白梅学徒隊」が配属されました。地上戦の激化によって負傷者が続々運ばれたためベッド不足となり、新城分院(ヌヌマチガマ・ガラビガマ)が開設されました。写真は手術場壕跡の入口で、平和ガイドを行っている様子です。





町の魅力を県内外に発信

# 八重瀬の観光・交流

SPREADING OUR TOWN CHARMS LOCALLY AND BEYOND  
OUR SIGHTS AND CULTURAL EXCHANGE



■手いー市開催の様子



八重瀬町公式  
観光キャラクター  
やえせの  
シーちゃん

エージグシク(八重瀬城)に住むシーサーの精。  
好きなもの:ぐしちゃんピーマン  
嫌いなもの:ハブ  
趣味:ウンチク  
特技:棒術  
尊敬する人:謝花昇



やえせのシーちゃん  
公式サイト

南の駅やえせ

八重瀬町には、豊かな自然や史跡等のさまざまな優れた観光資源があります。これら観光資源の活用を図る拠点として「南の駅やえせ」があります。南部観光ルートの中点にある南の駅やえせは、その地理的優位性を活かした誘客や情報発信、町の特産品や農産物の販売促進を行うなど地域の活性化を図るとともに、町のランドマークとして地域に親しまれる施設を目指しています。また、2022年には八重瀬町観光物産協会が設立し、新たな観光資源の創出と活用を推進しています。当協会が不定期で開催しているイベント「やえせ手いー市」は、八重瀬町に縁のある方々によるハンドメイド作品の販売やワークショップを開催し、子どもから大人まで県内外から多くの来場者が訪れ、好評を博しています。

## 八重瀬の体験

八重瀬町の自然を感じながら歴史に触れる様々な体験があります。



### 町内を散歩しながら魅力を発見 まちあるき

八重瀬町は旧石器時代の人骨「港川人」の出土地「港川遺跡」、県内の村落獅子として最大最古の「富盛の石彫大獅子」など歴史ある土地です。ホロホロの森は、わずか600mの遊歩道に100種類以上の植物が自生し、多くの生き物に出会うことができます。そんな八重瀬町の魅力の一つとして町内を散歩してみるのもオススメです。



### 自然を体感しながら歴史を感じる 熱帯カルストトレッキング ハンターバン

「ハンターバンの森」一帯は、国指定の第二種保護林となっており、石灰岩地帯の特殊な原始林となっています。中でも「具志頭・多々名地溝帯」は深さ12mの岩の割れ目が迷宮の様に広がる日本随一のカルスト地形で、八重瀬町が世界に誇れる有力な観光資源となっています。

## 八重瀬の観光情報発信

八重瀬町の魅力はSNSやWEBサイトなどでリアルタイムに発信しています。



SNS  
(facebook, Instagram)



facebook



Instagram

八重瀬町観光物産協会公式サイトと連動したFacebookページ「どこ？八重瀬」「ここ！八重瀬」では、素晴らしい自然や民俗芸能がいっぱいの魅力あふれる八重瀬町の旬な情報をお届けします。



YouTubeチャンネル



youtube

本町のおすすめスポットやグルメ、自然、芸能を紹介。八重瀬町の公式観光キャラクターの「やえせのシーちゃん」をはじめとしたナビゲーターによる案内や、イベント時にはオンライン配信するなど、楽しく八重瀬町の魅力を発信しています。



八重瀬町観光物産協会  
公式サイト



HP

八重瀬に関する様々な観光に関する情報を「八重瀬を知る」「体験する」「食を楽しむ」「泊まる」等の項目に分類し発信することで、利用者が必要な情報を探しやすいサイトを目指しています。



町の魅力に彩りを添える  
**八重瀬のイベント**

BOOSTING OUR TOWN CHARMS YAESE TOWN EVENTS

八重瀬町では季節に合わせて様々なイベントや行事・祭りが行われ、  
その時期には県内外を含め多くの人たちで賑わいます。





1月

### やえせ桜まつり

八重瀬公園の桜が見ごろを迎える1月下旬～2月上旬に、イルミネーションや絵行灯のライトアップが行われます。

旧暦  
5月4日

### 港川ハーレー

旧暦5月4日の直近の日曜日に航海安全と豊漁を願う港川ハーレーが行われ、同日、奉納全島角力相撲も開催されます。

10月

### 青年エイサーまつり

各地域に伝わる棒術や獅子舞を筆頭に、旧盆行事で行われている青年エイサー5団体の舞いと手踊りが演舞されます。

(4年に1回)

11月

### YAESE結フェスタ

各地域の民俗芸能が集まる4年に1度の祭典。民俗芸能のほか歌や踊り、空手演武など多彩な演目が披露されます。

8月

### 十五夜行事

十五夜行事(旧暦8/15)は、各地で五穀豊穰・無病息災を祈る豊年祭が行われ、道ジュネーや棒術などが演じられます。

8月

### 8/8はやえせDAY!?

8月8日は、“八”が“重”なるやえせDAYと称して毎年、「8」にまつわる様々な企画を実施しています。

旧盆

### 旧盆行事

旧盆(旧暦7/13～16)は、各地域で先祖の供養とともに五穀豊穰や無病息災を願い、綱引きやエイサーなどが行われます。



# さまざまな地域とつながる八重瀬町 姉妹都市・国際交流

CONNECTING WITH OTHER REGIONS  
SISTER CITIES AND INTERNATIONAL EXCHANGE



## 姉妹都市 香南市

香南市は、平成18年3月1日に、高知県の香南5町村(赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村)が合併して誕生しました。四国山地を源流にする河川などが豊かな場所です。



### これまでの交流

昭和41年11月22日、具志頭城址に「土佐之塔」が建立され、高知県遺族会による毎年の慰霊訪問を機に交流が始まりました。高知県・具志頭村児童交歓会や、各種視察団の派遣交流を通し親善を深め、平成5年に具志頭村と野市町間で姉妹都市提携盟約調印が挙行され、一層の絆が深まりました。以降、教育や文化、産業等の多様な分野での幅広い交流が行われています。



### 香南市の紹介

香南市は平成18年3月1日に高知県の香南5町村(赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村)が合併して誕生した町です。高知市の東部約20~30キロメートルに位置し、東西約20キロメートル、南北約15キロメートルの広さを持つ面積126.46平方キロメートルのまちです。人口は、約3万3千人で四国山地を源流にする河川などが豊かな水と緑に囲まれた地域です。



初代八重瀬町長 中村信吉氏(左)と初代香南市長 仙頭義寛氏(右)



高知県

人口:33,009人  
(令和4年12月末日)

市の木 センダン

市の花 ミカン(蜜柑)

市の鳥 メジロ

特産品 シイラ・ニラ・みかん・

メロン他

# ヤエセンチュ大会

世界のヤエセンチュを  
おもてなし

世界のウチナーンチュ大会に合わせて、八重瀬町にルーツをもつ方＝ヤエセンチュを八重瀬町に招き、YAESE結フェスタへの招待や交流会などを実施しています。



世界各地の沖縄県系人が母県である沖縄に集い、功績を称えるとともに、県民との交流を通してウチナーネットワークを拡大・発展させ、さらにそのルーツやアイデンティティーを確認し次世代へ継承していくことを目的とした「世界のウチナーンチュ大会」。概ね5年に一度開催されるこの大会に合わせて、八重瀬町にルーツを持つ「ヤエセンチュ」を招き、歓迎の夕べなどを開催しています。令和4年の第7回目の大会では、1日目に「YAESE結フェスタ」へ招待し、2日目には「移民のルーツを巡るバスツアー」を開催しました。バスツアーでは、港川フィッシャーの見学や、汗水節の踊りと生演奏の鑑賞、藍染体験など町の歴史や文化に触れていただきました。2日間で計40名のヤエセンチュが参加し、大いに盛り上がりました。

# 八重瀬町 国際交流人材育成事業

世界へ羽ばたく青少年をサポート

青少年リーダーを海外(ハワイ)に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察研修や海外青少年との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応し得る青少年リーダーの育成を目的に、夏休み期間中に実施しています。



# 行政と議会

ADMINISTRATIVE GOVERNMENT AND TOWN COUNCIL

## 行政 | ADMINISTRATIVE GOVERNMENT

八重瀬町は、町民と行政の共通の目標となるまちの将来像である「大地の活力と うまんちゅの魂が創り出す 自然共生の清らまち」を形づくり、その実現に向けて長期的な視点を持って取り組んでいます。

本町の人口は緩やかながら増加傾向にあります。少子高齢化の急速な進展、こどもの貧困問題など福祉の充実や老朽化する社会インフラの更新や維持管理、ICT技術の進化によるライフスタイル・ワークスタイルの変化など、大きく変容する地域社会の状況に的確に対応していくために、健全で効率的な行財政運営を図りながら、産業振興・経済発展、町民生活の向上の実現に努めるとともに、町民と行政が互いに尊重し合い連携する協働のまちづくりを推進していきます。



庁舎



町長  
新垣 安弘



副町長  
石川 勝弘



教育長  
諸見里 勲



議長  
神谷 たか子



副議長  
砂川 泰秀

## 議会 | TOWN COUNCIL

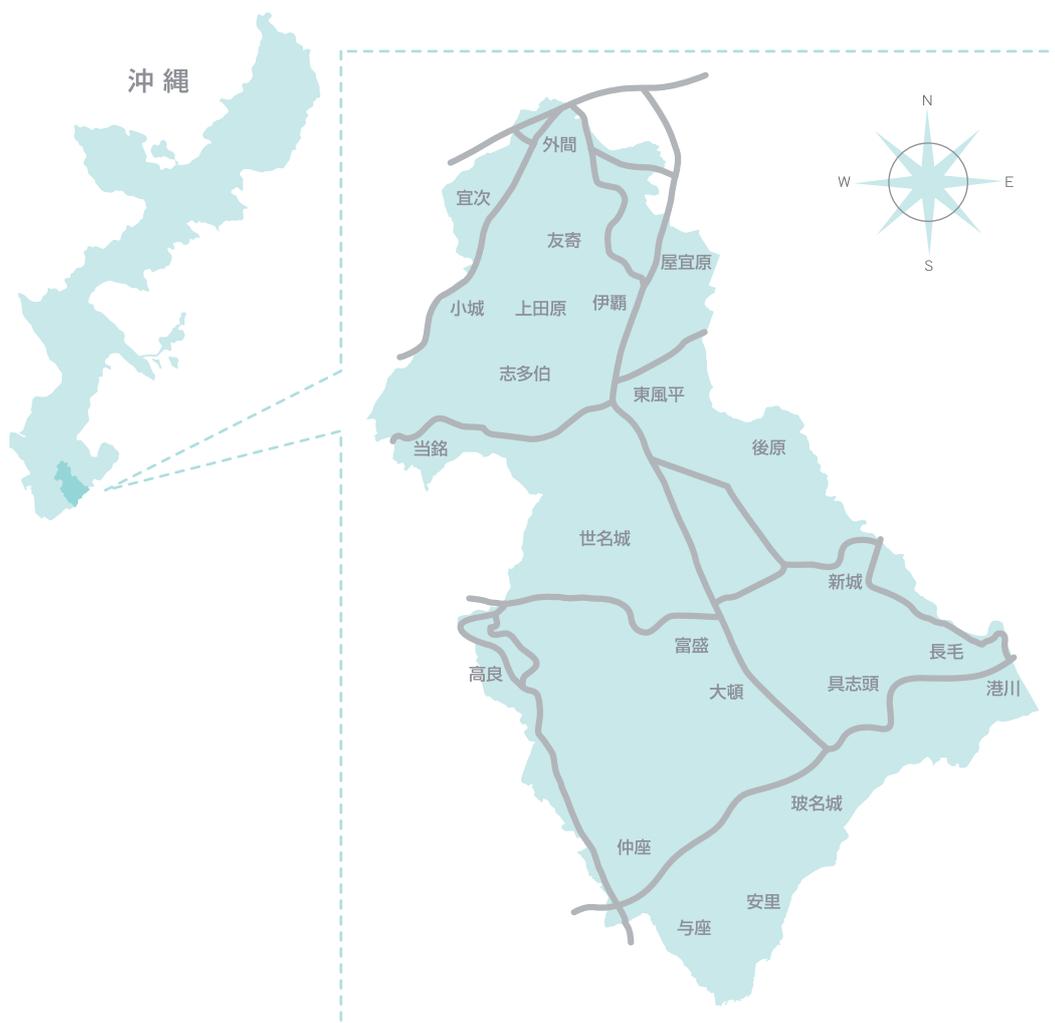
町議会は、町民を代表する16名の議員で構成され、年4回の定例会や必要に応じて開かれる臨時議会で、予算をはじめ、条例の制定・改正・廃止、決算審査など、また、専門的に審議するために

常任委員会(総務厚生・経済産業文教・議会広報)、議会運営委員会の各委員会が設置されています。

八重瀬町議会第6期議員



# 資料編



## ●八重瀬町の位置

方位	地名	緯度	経度	面積
東端	港川	127° 45' 43"	26° 07' 33"	26.96km <sup>2</sup>
西端	小城	127° 41' 48"	26° 09' 06"	
南端	安里	127° 43' 54"	26° 05' 54"	
北端	外間	127° 43' 51"	26° 01' 50"	

## ●八重瀬町の最高点

山名	八重瀬岳
高さ	163m
緯度	26° 07' 51"
経度	127° 43' 16"

町民の暮らし	52
財政	53
人口	54
農業・畜産業	56
漁業・工業・町内総正産	57
教育・児童福祉	58
公共施設一覧	59
行政組織図	60
八重瀬町 町歌／音頭	61
八重瀬町のあゆみ	62

## 町民の暮らし

### 世帯

令和4年3月末  
12,844戸



1世帯 2.5人

### 人口密度

令和4年3月末  
人口32,229人



1kmあたり1,195人

### 転入

令和3年1月～12月  
年間1,610人



1日に 4.4人

### 転出

令和3年1月～12月  
年間1,412人



1日に 3.9人

### 出生

令和3年1月～12月  
年間357人



1日に 0.98人

### 死亡

令和3年1月～12月  
年間301人



1日に 0.82人

### 婚姻

令和3年度  
375組



1日に 1.02組

### 離婚

令和3年度  
120組



1日に 0.33組

### ごみ排出量

令和3年度  
6,582t



1日に 18t

### 上水道

令和4年3月末  
年間3,276,127m<sup>3</sup>



1日1人あたり 278ℓ

### 救急活動

令和2年1月～12月  
年間1,341件



1日に 3.7件

### 火災

令和2年1月～12月  
年間11件



33日に1件

### 財政

令和3年度  
14,590,000,000円



1人あたり452,698円

### 町税負担

令和3年度  
2,785,637,000円



1人あたり86,433円

### 議員数

令和4年3月末  
議員(定数)16人



町民 2,014人に1人

### 町職員

令和4年3月末  
職員210人

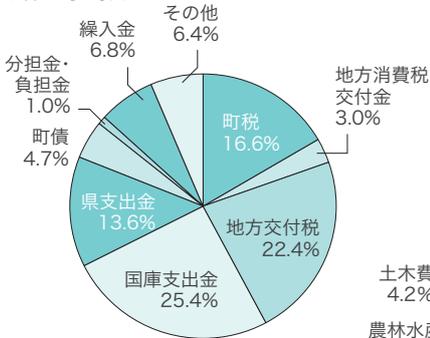


町民 153人に1人

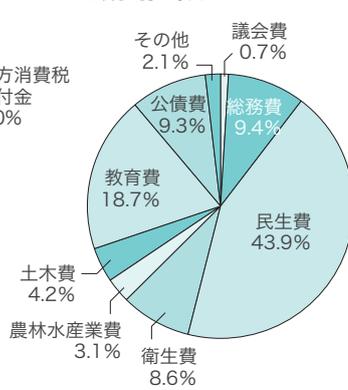
# 財 政

## ●令和3年度一般会計当初予算

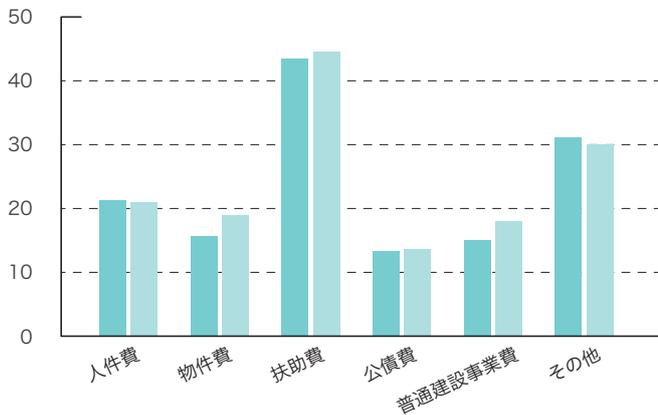
### 歳入内訳



### 歳出内訳



## ●歳出 性質別(対前年度比較)



	令和2年度	令和3年度
人件費	21億 711万円	21億 199万円
物件費	15億 6,993万円	18億 7,968万円
扶助費	43億 5,623万円	44億 6,838万円
公債費	13億 5,117万円	13億 5,593万円
普通建設事業費	15億 123万円	17億 8,012万円
その他	31億 3,433万円	30億 390万円
合計	140億 2,000万円	145億 9,000万円

## ●特別会計当初予算

特別会計名	令和2年度	令和3年度	増減額	増減率
国民健康保険	36億 6,831万円	37億 6,029万円	9,198万円	2.5%
後期高齢者医療	2億 3,847万円	2億 4,020万円	173万円	0.7%
土地区画整理事業	2億 9,584万円	2億 9,227万円	-357万円	-1.2%
集落排水事業	6,780万円	6,798万円	18万円	0.3%
合計	42億 7,042万円	43億 6,074万円	9,032万円	2.1%

## 歳入内訳

科目(款)	歳入	構成率
町税	24億 2,364万円	16.6%
地方消費税交付金	4億 4,105万円	3.0%
地方交付税	32億 7,385万円	22.4%
国庫支出金	37億 781万円	25.4%
県支出金	19億 8,492万円	13.6%
町債	6億 8,430万円	4.7%
分担金・負担金	1億 4,689万円	1.0%
緑入金	9億 9,699万円	6.8%
その他	9億 3,055万円	6.4%
合計	145億 9,000万円	100.0%

## 歳出内訳

科目(款)	歳入	構成率
議会費	1億 150万円	0.7%
総務費	13億 6,923万円	9.4%
民生費	64億 550万円	43.9%
衛生費	12億 5,856万円	8.6%
農林水産業費	4億 5,597万円	3.1%
土木費	6億 750万円	4.2%
教育費	27億 3,559万円	18.7%
公債費	13億 5,593万円	9.3%
その他	3億 22万円	2.1%
合計	145億 9,000万円	100.0%

## ●基金の状況(預金残高見込額)

財政調整基金	3億 4,594万円
減債基金	12万円
ふるさと創生基金	5億 8,694万円
ふるさと応援基金	4億 8,471万円
人材育成基金	2,847万円
まちづくり復興基金	12億 1,744万円
森林環境譲与税基金	578万円
合計	26億 6,939万円

一人当たりの残高	83,819円
人口 31,847人	(対前年度比 12,493円増)
(令和3年2月末日現在)	

## ●地方債現在高見込額(借入残高)

総務債	75億 7,305万円
民生債	0万円
農林水産債	8,058万円
土木債	35億 65万円
教育債	25億 3,473万円
土木債(災害復旧債)	0万円
合計	136億 8,901万円

一人当たりの残高	429,837円
人口 31,847人	(対前年度比 14,855円減)
(令和3年2月末日現在)	

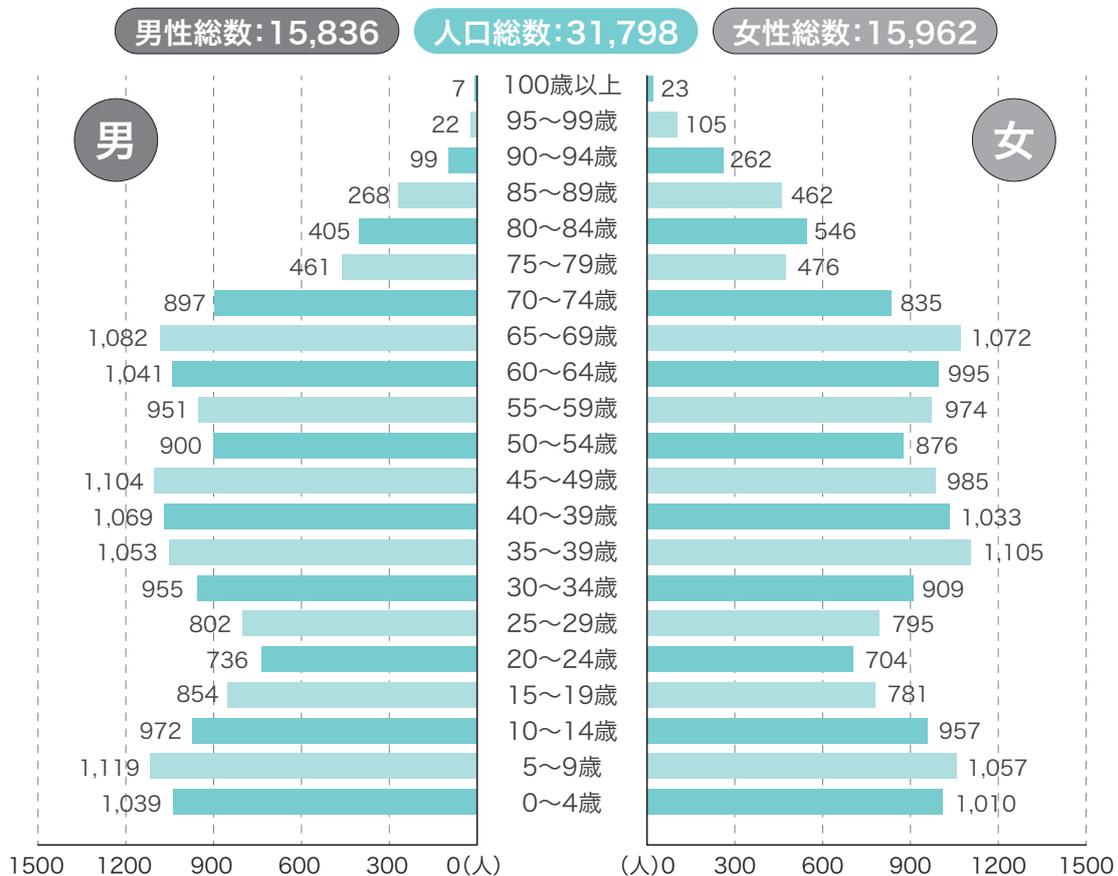
# 人口

## ●人口と世帯の推移

	人口			世帯数	1世帯あたり人員	人口密度 1km <sup>2</sup> あたり
	総数	男	女			
大正9年	15,341	7,507	7,834	3,086	5	569
大正14年	14,553	7,030	7,523	3,135	4.6	540
昭和5年	14,858	7,063	7,795	3,101	4.8	551
昭和10年	15,406	7,369	8,037	3,199	4.8	571
昭和15年	15,214	7,160	8,054	3,160	4.8	564
昭和25年	14,373	6,576	7,797	3,251	4.4	533
昭和30年	15,089	7,197	7,892	2,987	5.1	560
昭和35年	15,845	7,572	8,273	3,062	5.2	588
昭和40年	16,212	7,807	8,405	3,059	5.3	601
昭和45年	16,038	7,691	8,347	3,166	5.1	595
昭和50年	17,647	8,736	8,911	3,617	4.9	655
昭和55年	18,990	9,500	9,490	4,199	4.5	704
昭和60年	19,918	9,997	9,921	4,585	4.3	739
平成2年	20,718	10,367	10,351	5,167	4	768
平成7年	23,033	11,463	11,570	6,070	3.8	854
平成12年	24,626	12,154	12,472	6,825	3.6	913
平成17年	25,121	12,408	12,713	7,399	3.4	932
平成22年	26,681	13,170	13,511	8,139	3.3	990
平成27年	29,066	14,247	14,819	9,625	3	1,078
令和2年	30,941	15,244	15,697	10,680	2.9	1,148

資料:「国勢調査」

## ●年齢別人口ピラミッド (令和3年3月31日現在)



資料:住民環境課(住民登録人口)

# 人口

## ●行政区別の人口統計表 (令和3年3月31日現在)

	行政区名	世帯数	男	女	計
1	東風平	2,328	3,005	3,182	6,187
2	伊覇	1,059	1,483	1,560	3,043
3	上田原	196	268	284	552
4	屋宜原	689	967	999	1,966
5	富盛	643	842	853	1,695
6	世名城	472	615	560	1,175
7	高良	118	132	115	247
8	志多伯	387	511	457	968
9	当銘	299	303	335	638
10	小城	253	340	328	668
11	宜次	394	473	481	954
12	外間	198	201	219	420
13	友寄	540	684	634	1,318
14	第一団地	97	127	120	247
15	白川ハイツ	160	172	180	352
16	大倉ハイツ	109	121	129	250
17	屋宜原団地	217	249	258	507
18	外間団地	86	107	121	228
19	友寄東ハイツ	155	205	228	433
20	外間高層住宅	125	149	169	318
21	県営屋宜原団地	60	81	107	188
22	県営伊覇団地	49	89	90	179
25	八重瀬分屯地	61	51	10	61
	東風平地域計	8,695	11,175	11,419	22,594

	行政区名	世帯数	男	女	計
30	具志頭	851	948	911	1,859
31	新城	497	656	676	1,332
32	後原	539	706	676	1,382
33	大頓	111	135	135	270
34	玻名城	312	414	353	767
35	安里	340	419	413	832
36	与座	63	73	73	146
37	仲座	218	250	226	476
38	港川	376	407	376	783
39	長毛	365	446	448	894
40	転生園	87	19	68	87
41	南与座分屯地	20	17	3	20
42	県営大頓団地	74	91	92	183
43	県営長毛団地	79	80	93	173
	具志頭地域計	3,932	4,661	4,543	9,204

資料：住民環境課(住民登録人口)

## ●15歳以上の産業別就業人口

年次	総数 ※1	第一次産業 農業・林業・漁業等		第二次産業 工業・建設業・製造業等		第三次産業 サービス業等	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
平成22年	11,488	1,210	10.7%	1,927	17.1%	8,122	72.1%
平成27年	12,432	1,095	9.0%	2,022	16.7%	8,991	74.3%
令和2年	15,270	1,204	7.9%	2,501	16.4%	11,565	75.7%

※1「分類不能の産業」を含む。

資料：国勢調査

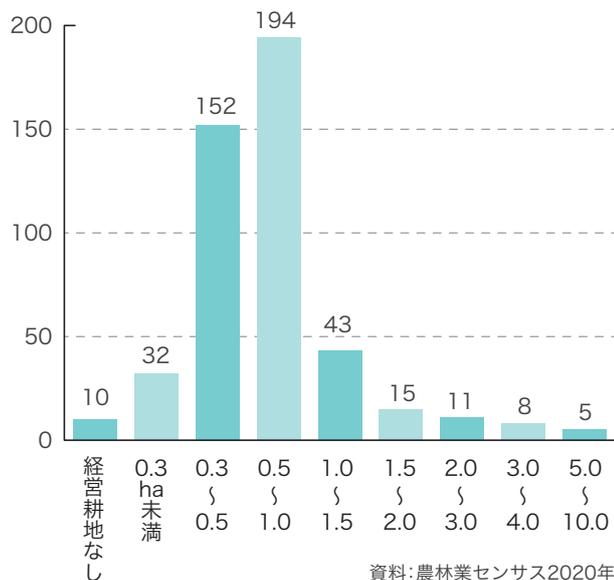
# 農業・畜産業

## ● 専業・兼業別農家数(販売農家)

	合計 (個人・団体)	個人経営			団体経営		
		主業	準主業	副業的	法人経営		
旧東風平町	251	244	67	27	150	7	7
旧具志頭村	219	210	94	15	101	9	8
八重瀬町計	470	454	161	42	251	16	15

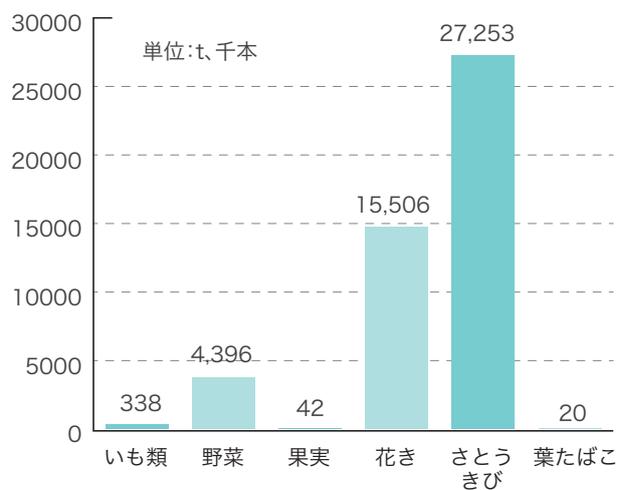
資料:農林業センサス2020年

## ● 販売農家数(経営耕作面積別)



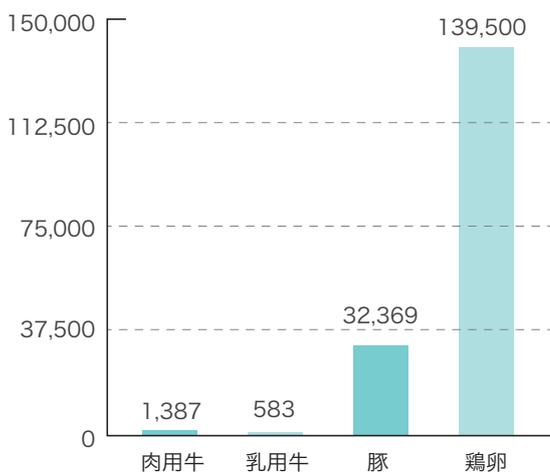
資料:農林業センサス2020年

## ● 農業生産量(耕種)



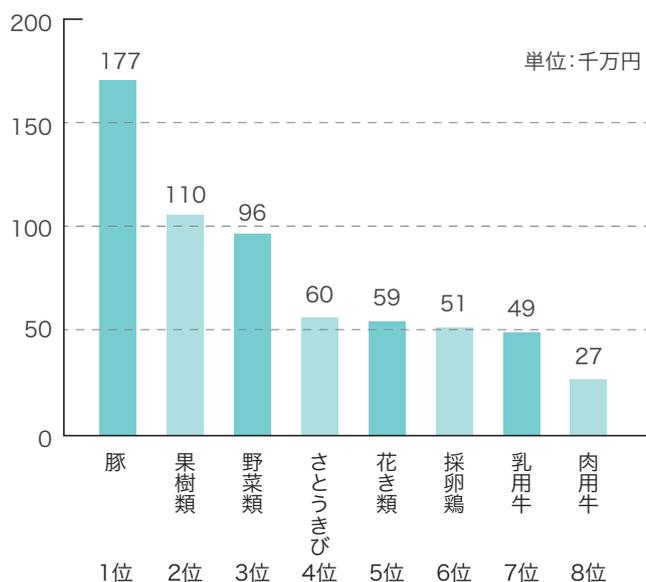
資料:農林水産課  
「八重瀬町農業振興地域整備計画書」(2015年)

## ● 家畜飼養頭羽数



資料:農林水産課  
「八重瀬町農業振興地域整備計画書」(2015年)

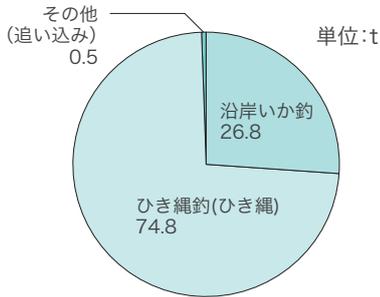
## ● 農産物産出額順位



資料:農林水産課  
「八重瀬町農業振興地域整備計画書」(2015年)

# 漁業・工業・町内総生産

## ●漁業種類別漁獲量



資料:農林水産課(令和3年度)

## ●漁業経営体数

漁業経営体数	個人経営体				その他の経営体 総数
	総数	専業 (自営漁業のみ)	兼業		
			自営漁業が主	自営漁業が従	
30	28	10	18	—	2
漁船	漁船				
	無動力船隻数	船外機付船隻数	動力船		
			隻数	総トン数	
—	4隻	28隻	125.8t		

資料:2018年漁業センサス

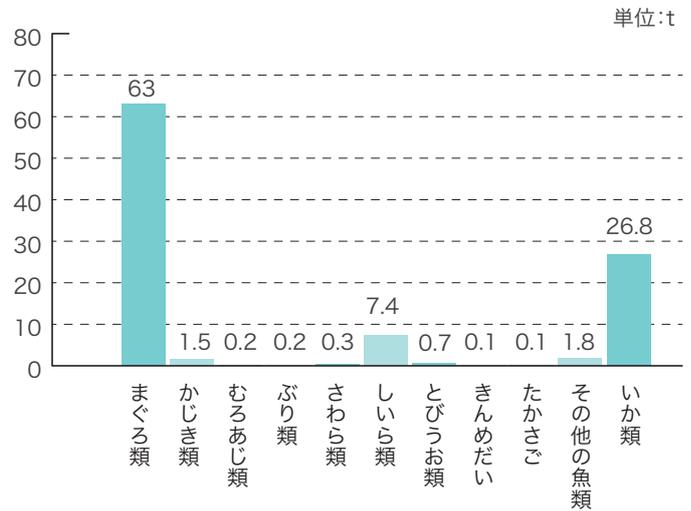
## ●工業の推移

年	事業所	従業員数	製造品出荷額
平成20年	31	373人	246,269万円
平成21年	30	355人	246,860万円
平成22年	32	370人	219,198万円
平成24年	35	398人	269,684万円
平成25年	33	383人	298,800万円
平成26年	31	349人	361,229万円
平成29年	25	297人	348,122万円
平成30年	30	364人	327,953万円
平成31年	30	359人	334,521万円
令和2年	28	416人	503,210万円

※平成23年・27年・28年は未実施

資料:「工業統計調査」

## ●魚種別生産額



## ●町内総生産

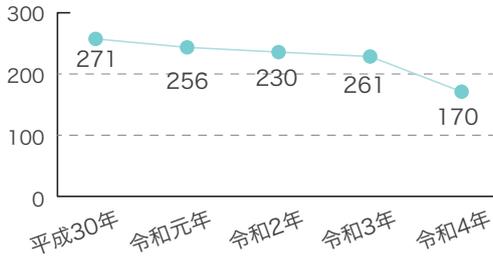


資料:「令和元年度 沖縄県市町村民所得」

# 教育・児童福祉

## ●幼稚園在園者数の推移

各年4月1日現在



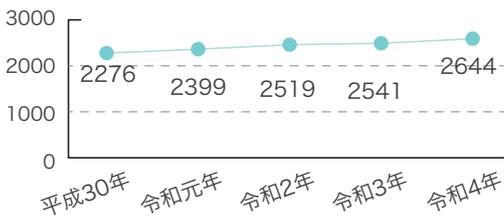
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
東風平幼稚園	111	95	85	101	
白川幼稚園	65	64	72	77	91
具志頭幼稚園	46	51	40	44	35
新城幼稚園	49	46	33	39	44
計	271	256	230	261	170

東風平幼稚園は令和4年度よりこちんだこども園へ移行

資料: 児童家庭課

## ●小学校児童数の推移

各年4月1日現在

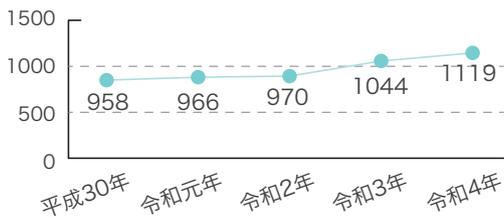


	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
東風平小学校	1,020	1,016	1,017	996	994
白川小学校	655	722	782	789	848
具志頭小学校	400	421	442	457	482
新城小学校	201	240	278	299	320
計	2,276	2,399	2,519	2,541	2,644

資料: 学校教育課

## ●中学校生徒数の推移

各年4月1日現在



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
東風平中学校	707	729	725	790	835
具志頭中学校	251	237	245	254	284
計	958	966	970	1,044	1,119

資料: 学校教育課

## ●認可保育園・認定こども園

施設名	設置認可年月日
具志頭保育園	昭和52年4月1日
港川保育園	昭和54年3月31日
のびる保育園	昭和56年3月31日
みどりが丘保育園	昭和58年4月1日
清ら風保育園	平成17年5月1日
シーサー保育園	平成19年4月1日
やえせ北保育園	平成20年4月1日
第2ぐしかみ保育園	平成20年4月1日
ときわ東保育園	平成22年4月1日
中央保育園	平成20年4月1日
結い保育園	平成24年4月1日
シーサー保育園(分園)	平成26年4月1日
八重瀬わかたけ保育園	平成26年4月1日

施設名	設置認可年月日
こちの詩保育園	平成26年4月1日
みどりが丘保育園(分園)	平成26年7月1日
ときわ東保育園(分園)	平成27年4月1日
きらら保育園	平成27年4月1日
中央保育園(分園)	平成27年5月1日
結い保育園(分園)	平成28年4月1日
あらしろ保育園	平成29年9月1日
ひかりのこ保育園	平成30年4月1日
にこにこ保育園	平成30年4月1日
こちの森保育園	令和2年4月1日
こちんだこども園	令和4年4月1日
風の音保育園	令和4年6月1日

資料: 児童家庭課

## 公共施設一覽

### ●八重瀬町役場(字東風平1188番地)

施設名	電話番号	施設名	電話番号
総務課	098-998-2200	農林水産課	098-998-4624
企画財政課	098-998-2668	農業委員会	098-998-9840
税務課	098-998-9593	土木建設課	098-998-2623
住民環境課	098-998-2443	土木建設課(下水道班)	098-998-1123
住民環境課(環境班)	098-998-8203	都市整備課	098-998-6989
社会福祉課	098-998-9598	学校教育課	098-998-7571
児童家庭課	098-998-7163	会計課	098-998-2000
健康保険課	098-998-2210	議会事務局	098-998-2201

### ●公共施設

施設名	電話番号	住所
八重瀬町役場具志頭出張所(住民環境課)	098-998-2101	字具志頭659番地
八重瀬町中央公民館(生涯学習文化課)	098-998-8383	字東風平1014番地
八重瀬町中央公民館具志頭分館(生涯学習文化課)	098-998-9841	字具志頭1番地
具志頭歴史民俗資料館(生涯学習文化課)	098-835-7500	字具志頭352番地
八重瀬町保健センター	098-998-1149	字東風平1318番地3
東風平学校給食センター	098-998-2358	字東風平355番地3
具志頭学校給食センター	098-998-2351	字具志頭661番地
子育て支援センターぴっぴ	098-840-7870	字東風平1426番地20
八重瀬町社会福祉会館	098-998-4000	字東風平1318番地1

### ●図書館・図書室

施設名	電話番号	住所
八重瀬町図書館・子ども学習センター	098-998-1350	字屋宜原146番地5
具志頭歴史民俗資料館図書室	098-998-8708	字具志頭352番地

### ●体育施設

施設名	電話番号	住所
東風平運動公園体育館(スポーツ振興課)	098-998-2140	字東風平1076番地
具志頭社会体育館	098-998-6635	字具志頭1番地
西部プラザ公園多目的広場	098-998-2140	字当銘82番地
八重瀬公園多目的広場	098-998-2140	字富盛1637番地
具志頭運動公園(多目的広場)	098-851-7775	字新城2048番地2
八重瀬町スポーツ観光交流施設	098-851-7775	字具志頭1300番地

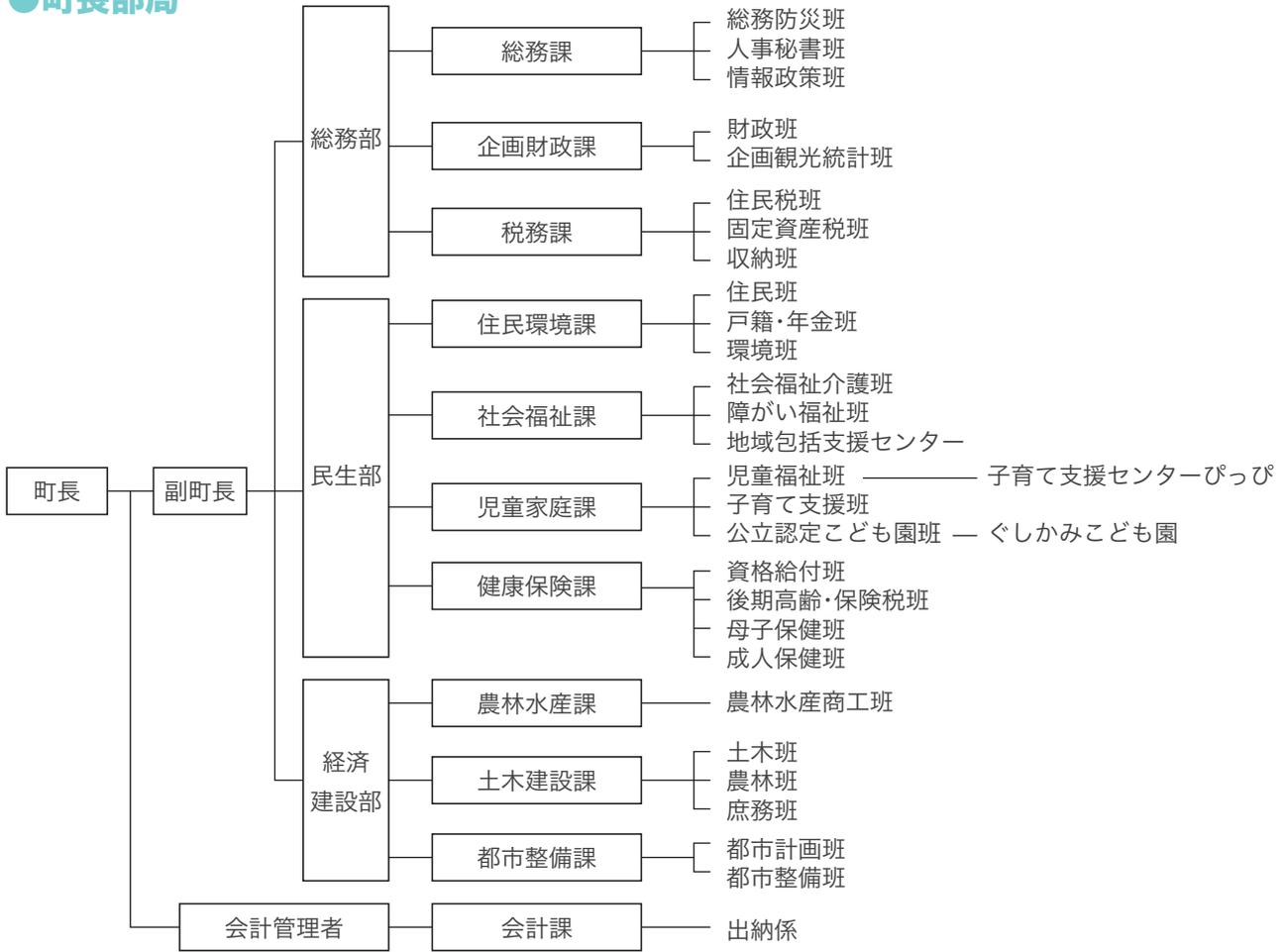
### ●町立小学校・中学校

施設名	電話番号	住所
東風平小学校	098-998-2105	字東風平304番地
白川小学校	098-998-7548	字小城551番地
具志頭小学校	098-998-2216	字具志頭666番地
新城小学校	098-998-2203	字新城1381番地
東風平中学校	098-998-2107	字東風平267番地
具志頭中学校	098-998-2220	字具志頭690番地

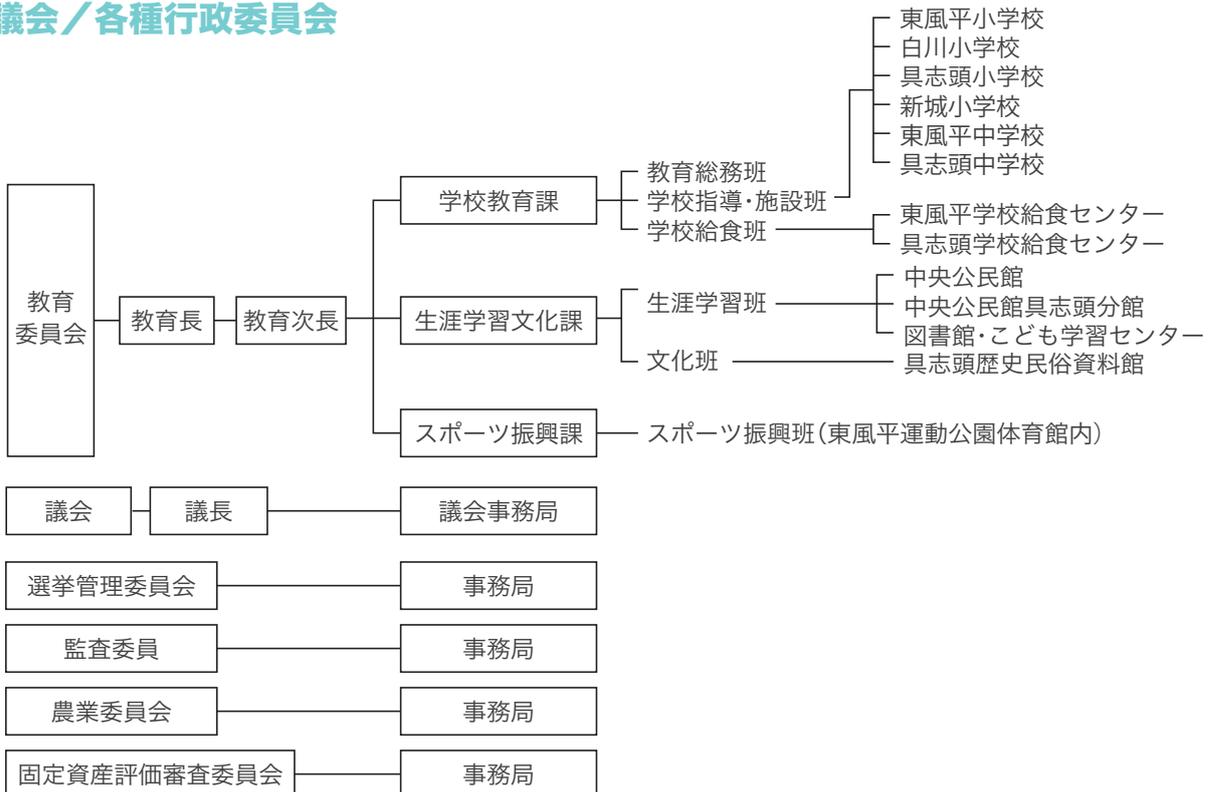
# 行政組織図

令和5年4月1日現在

## ●町長部局



## ●町議会／各種行政委員会



## 八重瀬町 町歌／音頭



八重瀬町 町歌／音頭  
▲町ホームページ



### 八重瀬町町歌「光りあふれる」

作詞 南 英市  
作曲 長嶺 俊一

- 一、光り溢れる 常夏の  
照る陽に映える 八重瀬岳  
潮の香満ちて さわやかに  
美ら海青く 澄みわたる  
共にいきいき 挙るまち  
われらがふるさと 八重瀬町
- 二、緑豊かな 南国の  
大地に稔る サトウキビ  
働く意気の うたごえと  
明日への夢が 盛りあがる  
共によろこび 励むまち  
われらがふるさと 八重瀬町
- 三、祭り行事も 伝統の  
文化を誇る 結のまち  
互いの胸に うまんちゅの  
魂あつく 燃えさかる  
共にしあわせ 築くまち  
われらがふるさと 八重瀬町

### 八重瀬町町民音頭「八重瀬音頭」

作詞 前原 貴子  
作曲 長嶺 俊一

- 一、八重瀬岳から 見下ろした  
わしたちゅら町 八重瀬町  
ヒカンザクラの花まつり  
風は歌い みどりおどる  
※心おどり 町もおどる  
平和の心 ちむにすみ  
ンナシうどうらな 八重瀬音頭  
イヤサッサハイヤ ハッハッハッハッ
- 二、海と山とに かこまれた  
わしたちゅら町 八重瀬町  
自然の恵み 幸豊か  
波は光り 鳥も歌う  
※繰り返し
- 三、歴史文化を守り継ぐ  
わしたちゅら町 八重瀬町  
いにしえ偲ぶ ちむぐる  
エイサーおどり シーサーも舞うよ  
※繰り返し
- 四、新たなまちの 心意気  
わしたちゅら町 八重瀬町  
心一つに まちづくり  
うふっちゅおどり わらびおどる  
※繰り返し

# 八重瀬町のあゆみ

2006年 平成18年	1月	東風平町と具志頭村が合併して「八重瀬町」が誕生
	2月	初代町長に中村信吉氏が就任
	3月	「小ぎく」の拠点産地として認定
	4月	地域包括支援センターの開設
	10月	第4回世界のウチナーンチュ大会in八重瀬町 「八重瀬町出身者歓迎の夕べ」開催
2007年 平成19年	11月	「ピーマン」の拠点産地として認定 高知県香南市と姉妹都市提携
	12月	八重瀬町の町章決定
	1月	「高知県香南市・沖縄県八重瀬町防災応援協定書」の締結
2008年 平成20年	2月	第1回やえせ桜まつり開催
	7月	新城幼稚園園舎改築事業完了
	9月	町の花、木、花木、魚を認定
2009年 平成21年	2月	第2回やえせ桜まつり開催 町民憲章の制定
	4月1日	北保育所、安里保育所の民営化
2010年 平成22年	2月	第3回やえせ桜まつり開催
	10月	第1回やえせまつり開催 八重瀬町町歌・町民音頭制定
	11月	「謝花昇」銅像移設除幕式
	12月	当銘・小城共有齋及び付属装具一式が県の 有形民俗文化財指定
2011年 平成23年	2月	第4回やえせ桜まつり 比屋根方次氏が町長就任(2代)
	3月	雄樋川地区排水処理施設完成
	4月	あずま保育所、中央保育所の民営化
	7月	「オクラ」の拠点産地として認定
	10月	八重瀬町ファミリー・サポート・センターの開所
2012年 平成24年	1月	町制施行5周年記念式典 「さやいんげん」の拠点産地として認定
	2月	第5回やえせ桜まつり開催
	3月	港川地区排水処理施設完成
	8月	「マンゴー」の拠点産地として認定
	10月	第5回世界のウチナーンチュ大会 八重瀬町出身者歓迎の夕べの開催
2013年 平成25年	1月	白川小学校校舎改築事業完了
	2月	第6回やえせ桜まつり開催 東風平幼稚園園舎改築事業完了
	3月	具志頭小学校校舎改築事業完了
	4月	みなみ保育所の民営化
	9月	具志頭小学校水泳プール改築事業完了 白川小学校屋外環境整備事業完了
2014年	1月	具志頭小学校周辺施設整備事業完了
	2月	第7回やえせ桜まつり開催
	3月	八重瀬町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」発表
	4月	防災行政デジタル無線運用開始(町内32カ所)
	7月	具志頭幼稚園改築工事地鎮祭
	10月	第2回やえせまつり開催
11月1日	トレーニング施設オープン(東風平運動公園体育館隣)	
2014年	2月	具志頭幼稚園園舎改築事業完了



八重瀬町役場開庁(平成18年1月4日)



第1回やえせまつり  
(平成21年10月10日-11日)



やえせのシーちゃんが誕生  
(平成25年3月15日)



町役場新庁舎落成式  
(平成27年12月19日)



人口3万人達成  
(平成27年11月2日)



町史「戦争編」発刊(令和4年3月31日)

## ●町長

歴代	氏名	就任	出身字
初代	中村 信吉	平成18年2月	字東風平
2代	比屋根 方次	平成22年2月	字東風平
3代	比屋根 方次	平成26年2月	字東風平
4代	新垣 安弘	平成30年2月	字志多伯
5代	新垣 安弘	令和4年2月	字志多伯

## ●副町長

歴代	氏名	就任	出身字
初代	伊集 守和	平成18年3月	字後原
2代	福島 正惟	平成22年3月	字具志頭
3代	福島 正惟	平成26年3月	字具志頭
4代	石川 勝弘	平成30年6月	字世名城
5代	石川 勝弘	令和4年6月	字世名城

※平成19年4月1日より地方自治法改正により  
助役に代えて副町長に呼称変更

## ●教育長

歴代	氏名	就任	出身字
初代	新垣 清徳	平成18年3月	字新城
2代	金城 隆雄	平成22年3月	字東風平
3代	金城 隆雄	平成26年3月	字東風平
4代	諸見里 勲	平成30年3月	字後原
5代	諸見里 勲	令和3年3月	字後原

## ●収入役

歴代	氏名	就任	出身字
	神谷 明德	平成18年3月	字志多伯

※制度改正により収入役廃止(平成20年3月31日限り)

## ●議長

歴代	氏名	就任	出身字
初代	伊吉 弘	平成18年1月	字具志頭
2代	神谷 信吉	平成18年9月	字伊覇
3代	知念 昭則	平成22年9月	字友寄
4代	上原 勝彦	平成26年9月	字港川
5代	金城 秀雄	平成30年9月	字安里
6代	神谷 たか子	令和4年9月	字当銘

## ●副議長

歴代	氏名	就任	出身字
初代	神谷 盛五	平成18年1月	字志多伯
2代	伊吉 栄徳	平成18年9月	字具志頭
3代	上原 勝彦	平成22年9月	字港川
4代	中村 司	平成26年9月	字新城
	金城 秀雄	平成29年4月	字安里
5代	神谷 たか子	平成30年9月	字当銘
6代	砂川 泰秀	令和4年9月	字新城

2014年 平成26年		第8回やえせ桜まつり開催
	7月	比屋根方次氏が町長2期目就任(3代)
	11月	具志頭小学校屋内運動場改築事業完了
2015年 平成27年	12月	仲本稔「生誕110周年記念事業」開催
	2月	八重瀬町「汗水節の里」宣言
	10月	第9回やえせ桜まつり開催
2016年 平成28年	12月	「謝花昇」生誕150周年記念事業式典・講演・演劇開催
	1月	八重瀬町役場新庁舎の落成式
	2月	八重瀬町役場新庁舎、具志頭出張所業務開始 町制施行10周年記念式典
2017年 平成29年	2月	「ぐしちゃんいい菜」沖縄、ふるさと百選に認定
	10月	第10回やえせ桜まつり開催 姉妹都市(香南市)文化交流開催
	2月	「第6回世界のヤエセンチュ大会 歓迎の夕べ」開催
2018年 平成30年	4月	第11回やえせ桜まつり開催
	9月	子育て支援センター「ぴっぴ」移転新装オープン 「八重瀬町トビウオプロジェクト協議会」発足 観光拠点施設「南の駅やえせ」オープン
	11月	観光拠点施設「南の駅やえせ」オープン
2019年 平成31年 令和元年	2月	新城保育所の民営化
	10月	「YAESE結フェスタ」第3回やえせまつり開催 「やえせのシーちゃん広場」供用開始
	2月	第12回やえせ桜まつり開催 新垣安弘氏が町長就任(4代)
2020年 令和2年	10月	被覆型一般廃棄物最終処分場「美らグリーン南城」の 一部供用開始
	2月	第13回やえせ桜まつり開催
	8月	新城小学校校舎改築事業完了
2021年 令和3年	10月	第54回島尻郡総合体育大会総合優勝(合併後初・令和初優勝)
	2月	第14回やえせ桜まつり開催 新城小学校屋外運動場整備事業完了
	3月31日	「ぐしちゃんのフクギ並木」八重瀬町指定文化財の名勝に指定
2022年 令和4年	1月	町制施行15周年記念式典 町営プールが民営化
	3月	ハンダダー(自然橋)が国の登録記念物(名勝地関係)に登録
	4月	子育て世代包括支援センターが開設
2023年 令和5年	8月	西部プラザ公園パークゴルフ場が完成 東京2020パラリンピック採火式が港川遺跡公園で開催
	11月	第二代沖縄県令上杉茂憲の説明板除幕セレモニー
	2月	第15回やえせ桜まつり開催 新垣安弘氏が町長2期目就任(5代)
2022年 令和4年	3月	八重瀬町史戦争編の発行
	4月	東風平幼稚園が閉園し、「こちんだこども園」が開園 八重瀬町観光物産協会が設立 八重瀬町図書館・こども学習センターがオープン
	8月	八重瀬町スポーツ観光交流施設がオープン
2023年 令和5年	10月	第7回世界のヤエセンチュ大会 「YAESE結フェスタ」第4回やえせまつり開催
	2月	第16回やえせ桜まつり開催
	健康増進機能強化施設「具志頭パークゴルフ場」がオープン	

豊見城市

南風原町

# 八重瀬町 イラスト マップ

南部徳洲会病院

島尻特別  
支援学校

東風平  
第一医院

南部商業高等学校

マックスバリュ

白川小学校

八重瀬町役場 かねひで

JA おきなわ

八重瀬町図書館・  
こども学習センター

東風平運動公園

東風平小学校

南城市

東風平中学校

島尻教育事務所

島尻消防具志頭出張所

南部工業高等学校

富盛の石彫大獅子

新城小学校

港川遺跡公園

八重瀬町スポーツ  
観光交流施設

具志頭中学校

具志頭小学校

具志頭歴史  
民俗資料館

港川漁港

向陽高等学校

糸満市

八重瀬公園

南の駅やえせ

JA おきなわ

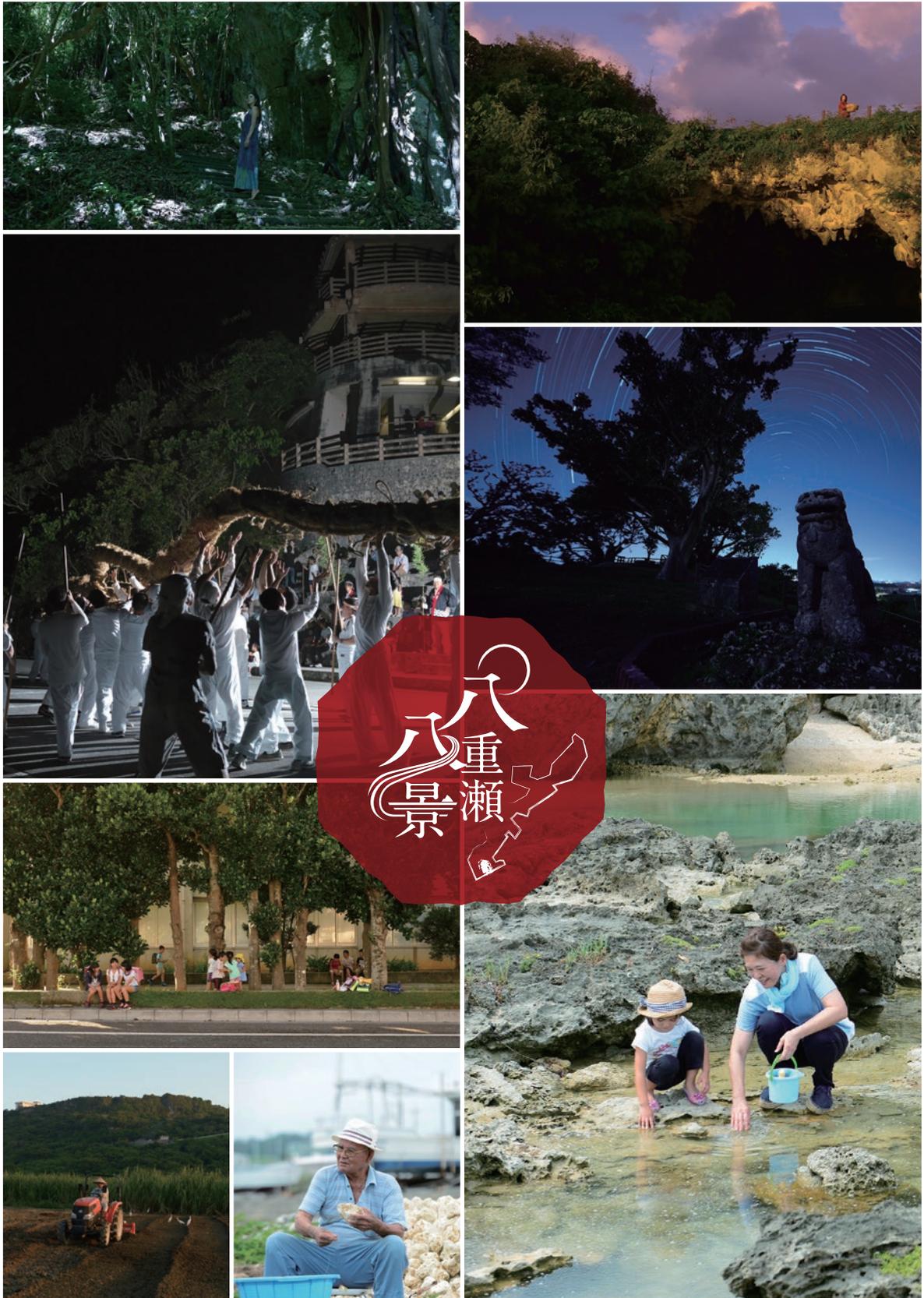
那覇ゴルフ倶楽部

サザンリンクス

太平洋

ギーザバンタ





八重瀬町景



八重瀬町要覧

発行日／令和5年3月31日

発行／八重瀬町役場

〒901-0492 沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平1188

098-998-2200

<https://www.town.yaese.lg.jp/>

